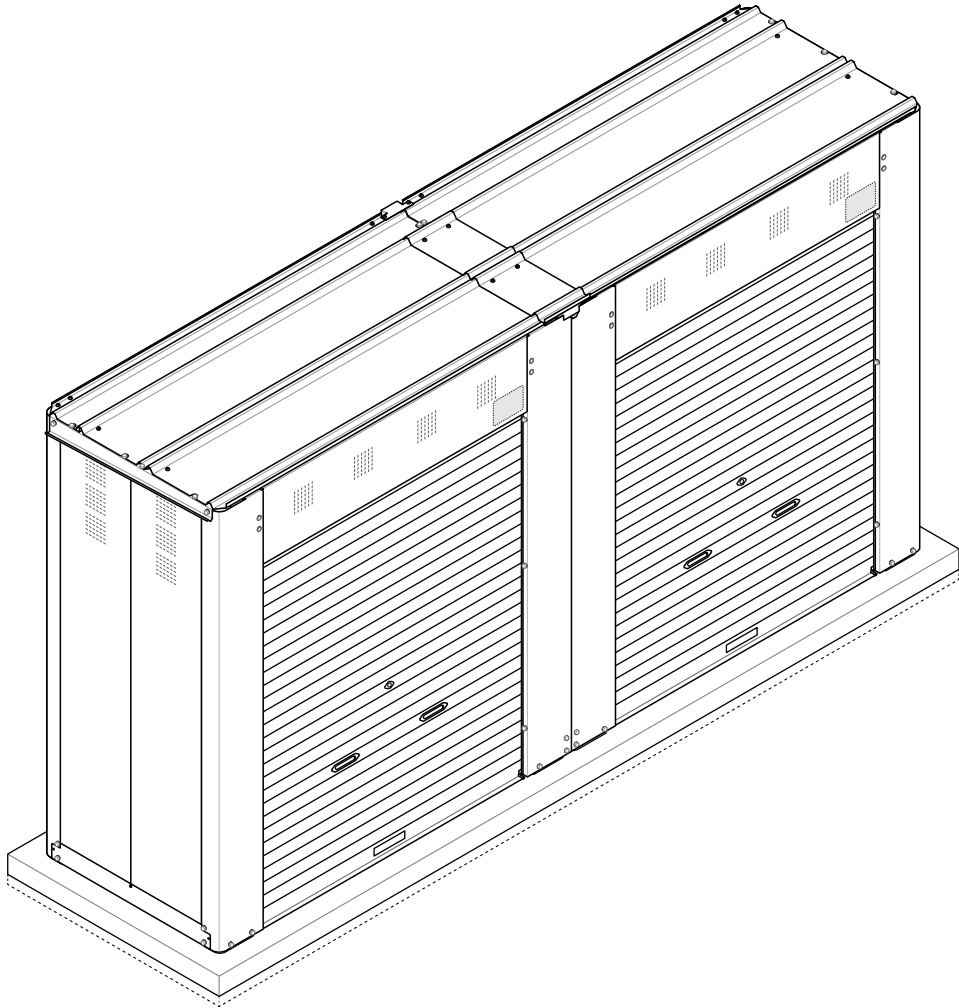


LPガス容器保管庫 タ Kubo 物置 シリンダーストッカー 連棟型

組立説明書（取扱説明書）

目次

[1].組立前に必ずお読みください . . .	2	[3].基礎図	5
[2].部品一覧表	4	[4].組立手順	6

品名	完成図
GB-4010 GB-4206 GB-5010	 この組立説明書はGB-4010を例に説明しています。

安全に組み立てていただくために・・・

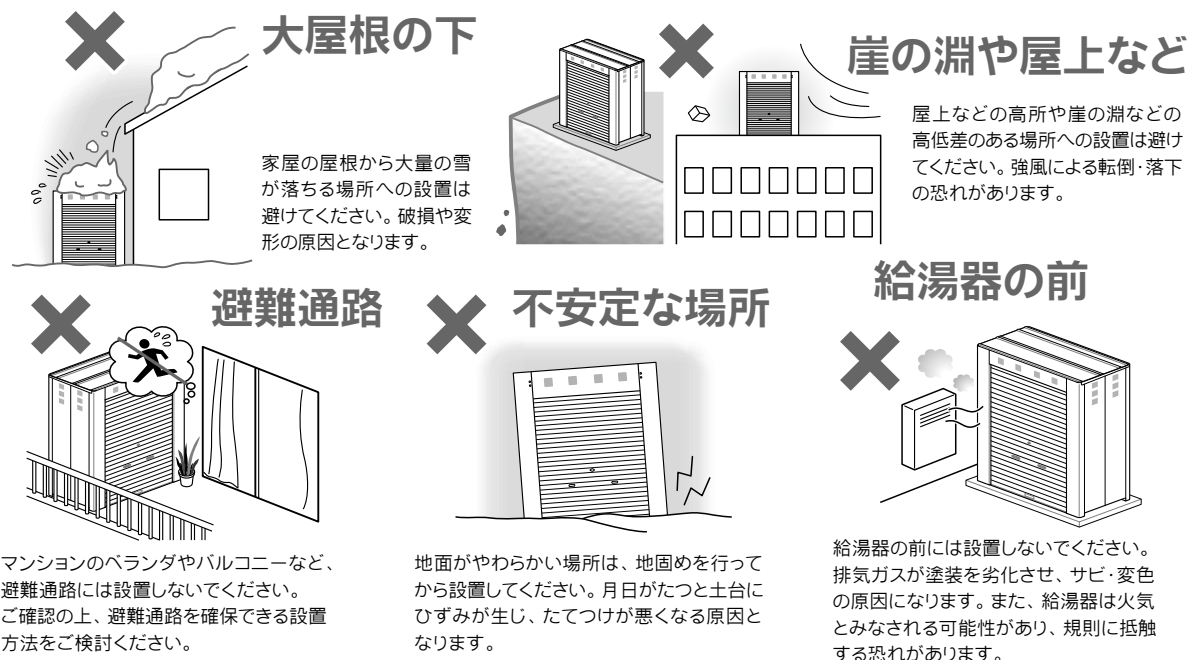
- ・このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
 ・この説明書をよくお読みの上組み立ててください。
 ・特に〈[1].組立前に必ずお読みください〉をよくご覧ください。
 ・施工業者様へ：組立完成后、この説明書は必ずお客様にお渡しください。
- ・強風時などに備え、転倒予防措置には十分なご配慮をお願いします。
 特に安全が確認できない屋上等、高所への設置はお避けください。
 ・カギはシャッターの裏に貼り付けてあります。（カギ№B-8000）

[1] 組立前に必ずお読みください

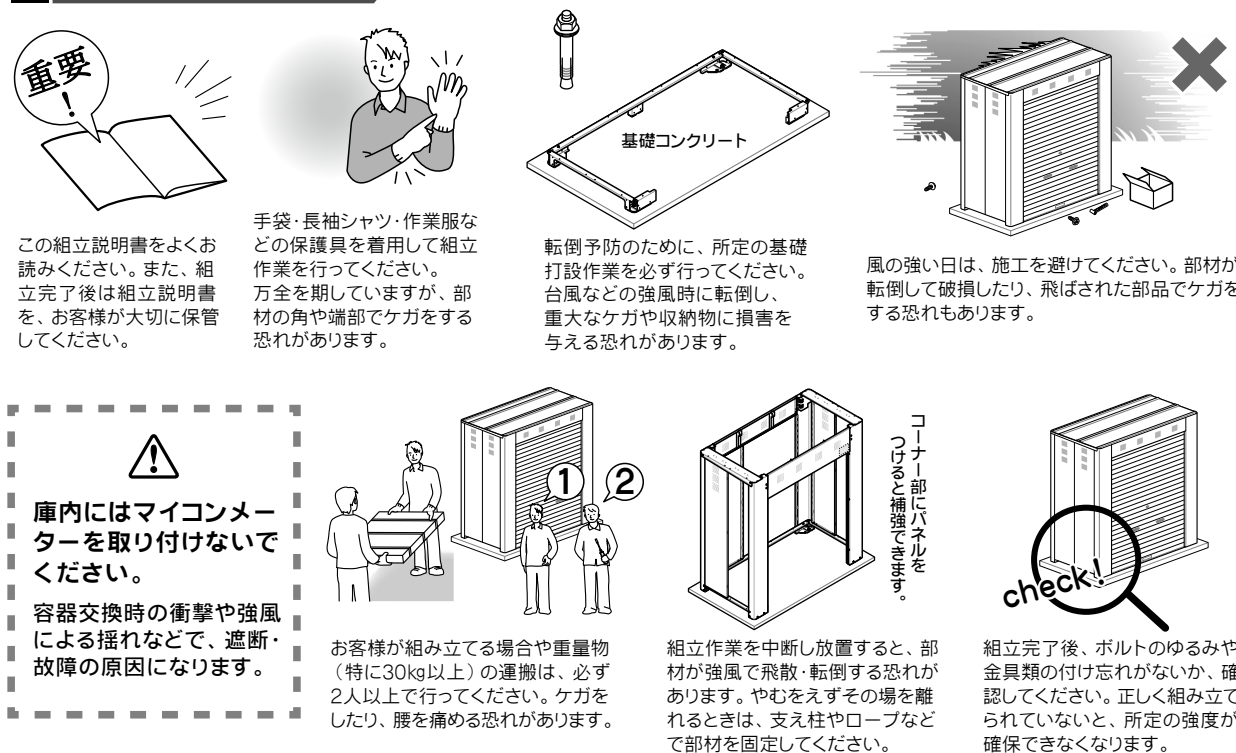


- ここに記載してある内容は、LPガス容器保管庫を安全にご使用いただく上で、重要なことを述べています。必ずお読みになり、正しくお使いいただくようお願い申し上げます。
- ここに記載してある内容をお守りにならなかった場合、お客様がケガをするなどの重大な人的損害を負う危険、また、商品の破損などの物的損害が発生する可能性があります。

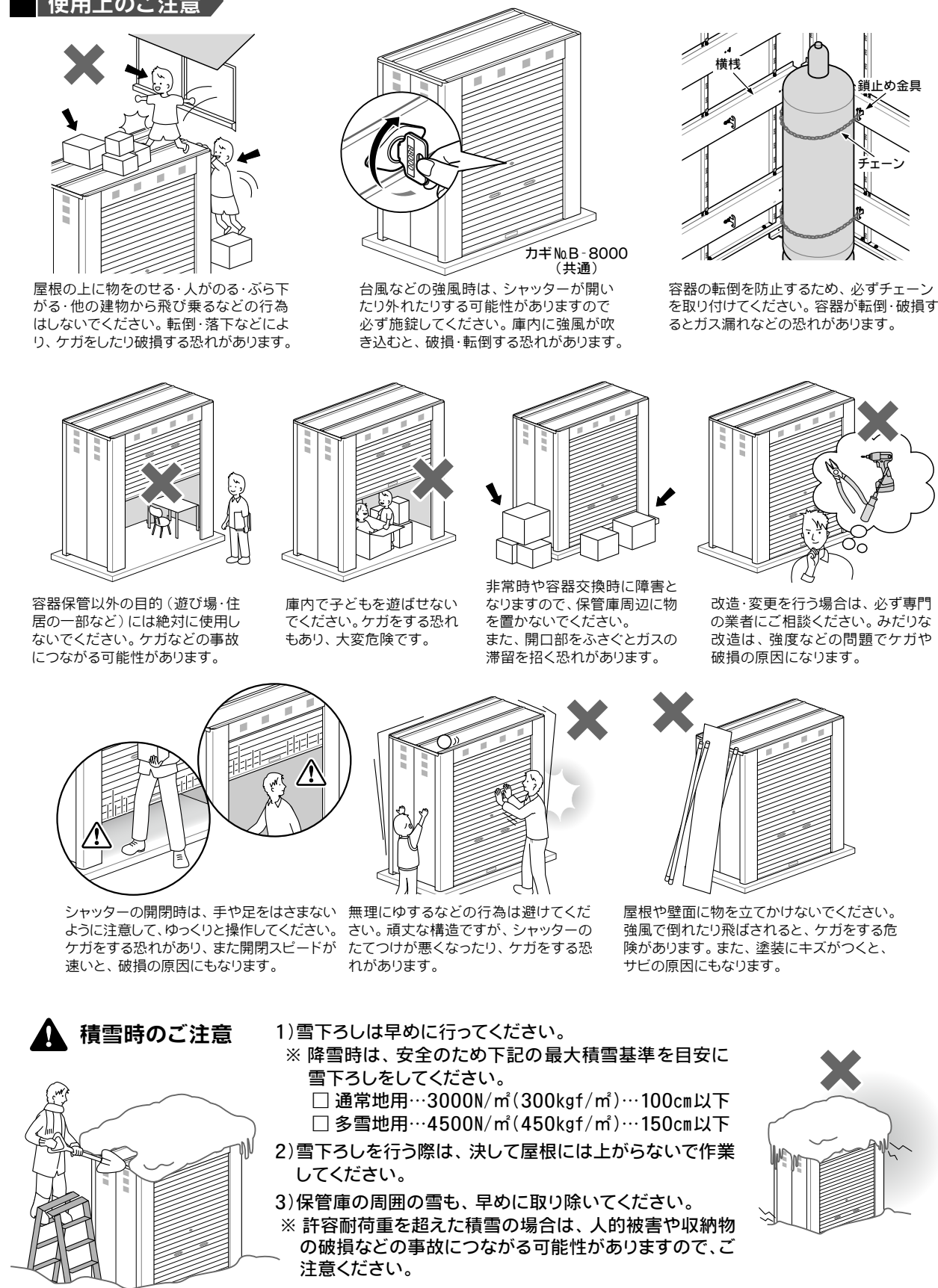
設置場所について



組立施工上のご注意



使用上のご注意



⚠ 天気予報などで災害が 予想される場合

台風等の暴風雨や豪雪などにより、商品の機能を超える事態が発生するとシャッターや本体が飛ばされるような事態になったり、庫内に雨水や雪が侵入することがあります。災害が予想される場合は、ロープ・ワイヤなどでしばって補強する等の対策をお願いします。

LPガス貯蔵設備の保安物件までの距離に関する規定

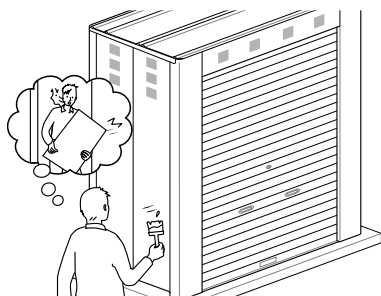
貯蔵能力 1,000kg未満	●特に規定なし。 ●ただし、火気から2m以上離さなければならない。
貯蔵能力 1,000kg以上 3,000kg未満	●貯蔵設備の外側から、第一種保安物件に対し16.97m以上、第二種保安物件に対し11.31m以上の距離を有すること。ただし、障壁等を設けた場合はこの限りではない。（下記○参照） ●火気を取り扱う施設から5m以上の距離を有すること。

○第一種保安物件：学校、病院、収容定員300人以上の劇場・映画館・演芸場・公会堂等、福祉施設・保護施設、重要文化財等の建築物、博物館、1日平均2万人以上乗降する駅・プラットフォーム、床面積1,000㎡以上の百貨店・マーケット・公衆浴場・ホテル等… など。

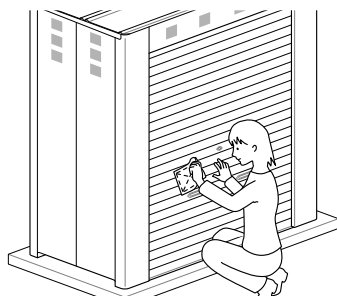
○第二種保安物件：第一種以外の住居用建築物。〔「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則」より〕

（注）LPガス容器保管庫は、障壁や障壁板としては認められません。また、地域ごとに行政より指導がありますので、関係機関にご確認ください。

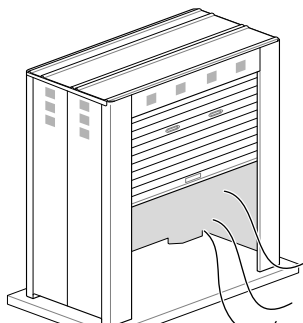
お手入れについて



長期間ご使用になると、様々なキズができることがあります。サビの原因になりますので、キズは早めに補修しましょう。

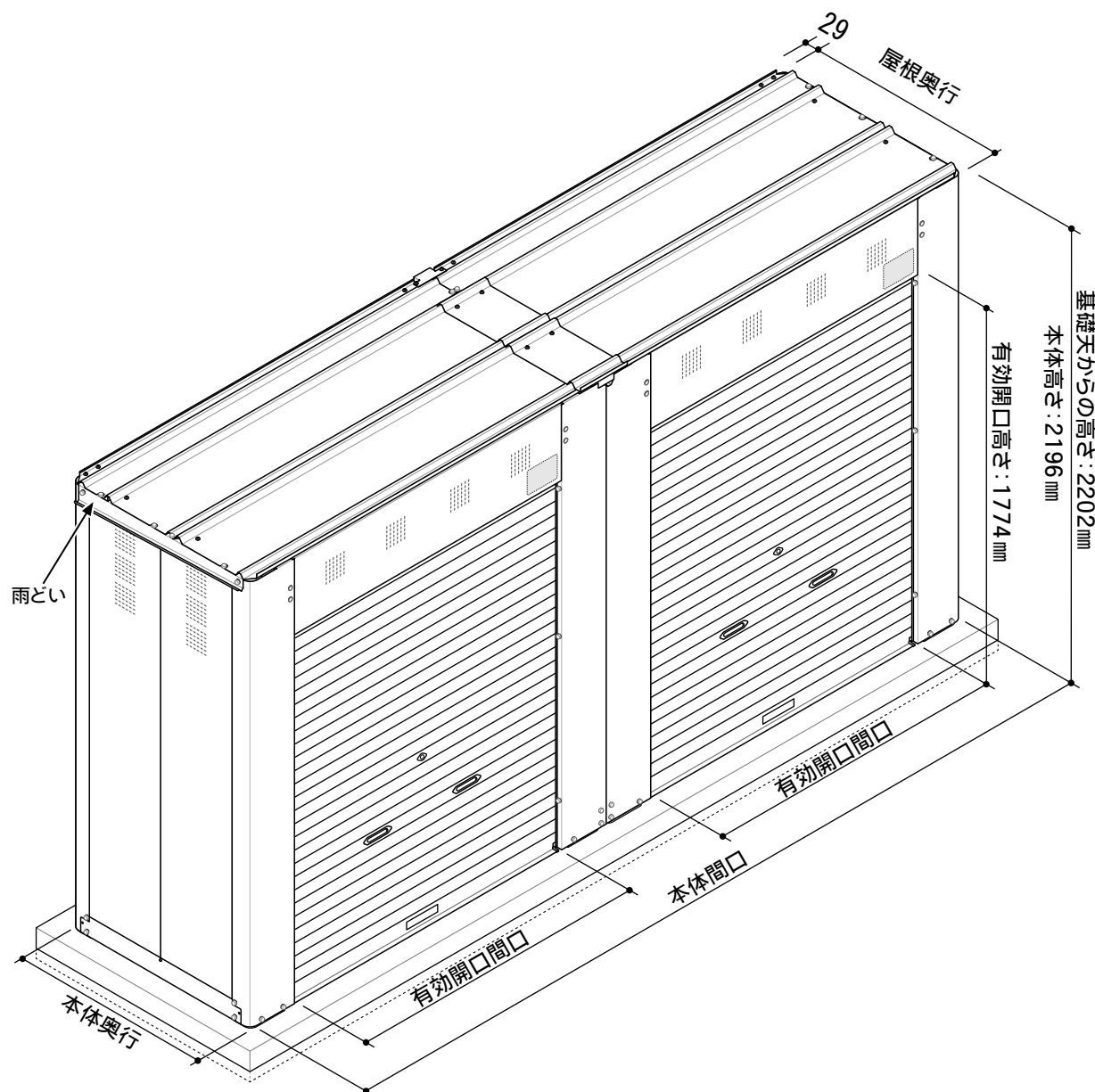


汚れたら水洗いをしてください。ワックスをかけると、より長くきれいに保てます。



ときどきシャッターを開けて風を通し、内部の換気を行ってください。

各部のサイズ（単位は mm）



【サイズ表】

（単位は mm）

機種	項目	本体間口	有効開口間口	本体奥行	屋根奥行	容器収納本数
4010型		4000	1486	1000	1004	16本
4206型		4200	1486	600	604	10本
5010型		5000	1986	1000	1004	20本

※高さは全機種共通です。

※屋根受けの雨どい部が、左右に28mmずつ、中央部に29mm後または前に張り出しています。（図示は後）

※「基礎天からの高さ」・「有効開口高さ」には、ライナープレートの厚さ6mmが含まれています。

※「容器収納本数」は、50kg容器収納本数の目安です。（P26・27参照）

[2] 部品一覧表

各部品にはシールが貼ってあります。

(例)  商品の分類番号
部品のナンバー
02 は、組立手順の最初に
出てくる「側面土台枠」です。

シールの下半分のナンバーで、部品を確認してください。

本組立説明書の中では、下記のようなマークで部品を表しています。

(例) 

本体組立部品

名 称	品番	機種別個数		
		4010	4206	5010
前土台枠 左	GB00 L01		1	
前土台枠 右	GB00 R01		1	
側面土台枠	GB06 02		3	
	GB10 02	3		3
後土台枠	GB20 04	2		
	GB25 04			2
後土台枠 左	GB21 04		1	
後土台枠 右	GB21 05		1	
柱 前左	GB00 06	1		1
柱W 前左	LP00 W06		1	
柱前連棟 左	GB00 106	1	1	1
柱 前右	GB00 07	1		1
柱W 前右	LP00 W07		1	
柱前連棟 右	GB00 107	1	1	1
柱 後左	GB00 08	1		1
柱W 後左	LP00 W08		1	
柱後連棟 左	GB00 108	1	1	1
柱 後右	GB00 09	1		1
柱W 後右	LP00 W09		1	
柱後連棟 右	GB00 109	1	1	1
上補強材	GB00 10	8	4	8
上補強材 (W用)	LP00 W10		4	
レール取付枠 左	GB00 11	2	2	2
レール取付枠 右	GB00 12	2	2	2

名 称	品番	機種別個数		
		4010	4206	5010
側面上枠連棟	GB06 113		1	
	GB10 113	1		1
後上枠	GB20 15	2	2	
	GB25 15			2
母屋	GB06 16		4	
	GB10 16	4		6
屋根受け 左	LP06 17		1	
	LP10 17	1		1
屋根受け 右	LP06 18		1	
	LP10 18	1		1
屋根受け連棟	GB06 117		1	
	GB10 117	1		1
屋根受け連棟カバー	GB00 152	1	1	1
屋根受け連棟樋カバー	GB00 153	1	1	1
前上枠	GB20 19	2	2	
	GB25 19			2
壁パネル	GB00 20	6	6	8
側面壁パネル	GB00 23	4	2	4
屋根	LP20 27	4		
	LP21 271		2	
	LP25 27			4
屋根 後	LP20 28	2		
	LP21 281		2	
	LP25 28			2

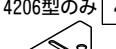
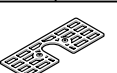
名 称	品番	機種別個数		
		4010	4206	5010
横棧 後	GB20 35	8		
	GB25 35			8
横棧後 左	GB21 35		4	
横棧後 右	GB21 36		4	
横棧 側面	GB06 38		4	
	GB10 38	4		4
縦棧	GB00 39	1	1	1
シャッター (ホイルカバー ・カギ 同梱)	GB20 380	2	2	
	GB25 380			2
ガイドレール	GB00 356	4	4	4
土台補強	LP00 49	2	2	2

組立ネジ・小部品類

※部品箱に入っています。() は予備の数量です。

名 称		M8×20 六角ボルト	M6×16 六角ボルト	M6ナット	M5×20 なべネジ	4×13 シール付 PANテクスネジ	アンカーボルト	M6ネジキャップ
形 状								
個 数	4010	8	369 (9)	34 (4)	22 (2)	38 (2)	12	62
	4206	8	357 (9)	30 (4)	22 (2)	26 (2)	12	62
	5010	8	416 (10)	39 (5)	22 (2)	38 (2)	12	62

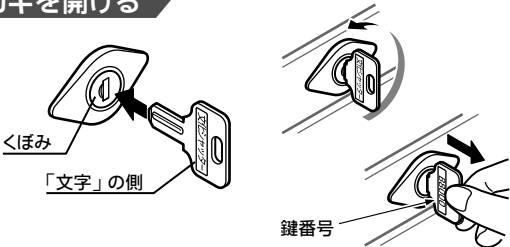
名 称		穴キャップφ20	ネジ板	鎖止め金具
形 状				
個 数	4010	8	146 (10)	24
	4206	8	137 (11)	24
	5010	8	160 (10)	32

4206型は1個		2個		2個		2個		2個	4206型のみ	4枚	1個		4個										
		屋根 連棟				土台つなぎ 左				土台つなぎ 右				土台つなぎ 連棟									
								補強プレート				コーナー金具 大				クッションゴム							
		12枚				12枚				4枚				4枚				1枚				1冊	
ライナープレート t6.0				ライナープレート t2.0				ライナープレート 補強用 t6.0				ライナープレート 補強用 t2.0				防水テープ				組立説明書 (本書のことです)			

シャッターの施錠方法

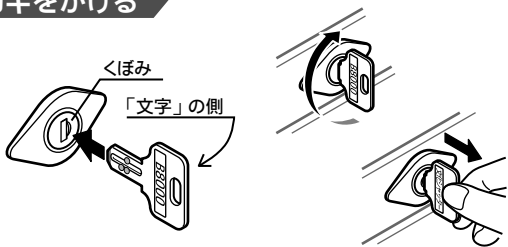
- ⚠ 注意 ● カギをかける前に、シャッターが下端まで完全に閉鎖していることを、必ず確認してください。
● ロックバーを持って開閉しないでください。バーが曲がってカギがかかりにくくなる恐れがあります。

カギを開ける



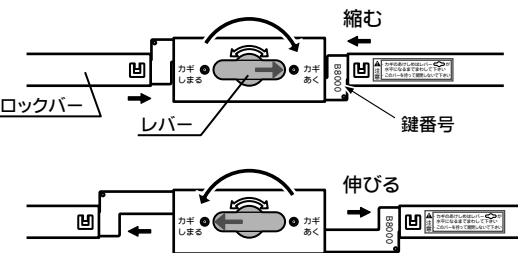
カギ穴のくぼみと、「文化シャッター」の文字の側を合わせてカギを差し込み、反時計回りに半回転させます。
必ず、カギを抜いてからシャッターを開けてください。

カギをかける



カギ穴のくぼみと、「文化シャッター」の文字の側を合わせてカギを差し込み、時計回りに半回転させます。
施錠後は、必ずカギを抜いてください。

〈庫内側からの操作〉



カギを開ける

レバーを時計回りに半回転させ、矢印シールを「カギあく」の向きに合わせます。レバーは水平になるまで回してください。

カギをかける

レバーを反時計回りに半回転させ、矢印シールを「カギしまる」の向きに合わせます。レバーは水平になるまで回してください。

組立に必要な道具

※ご注意ください。

- + ドライバー ● 10mmボックスドライバー (M6用)
- 13mmボックスドライバー (M8・シャッター取付用)
- 19mmスパナ (M12 アンカーボルト取付用) ● 脚立
- ハンマードリル・ドリル刃φ16.5mm (アンカー孔あけ用)

あると便利な道具

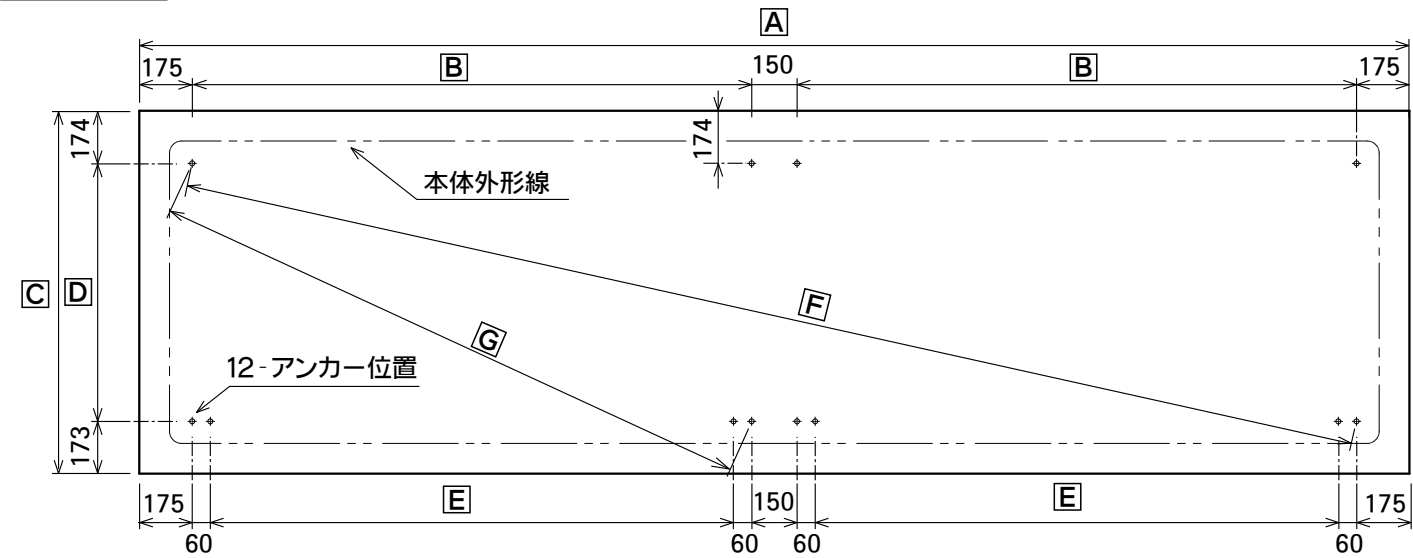
- インパクトドライバー
- + ドライバービット
- ロングソケットビット10mm (M6)
- ロングソケットビット13mm (M8)
- ロングソケットビット19mm (M12)

[3] 基礎図

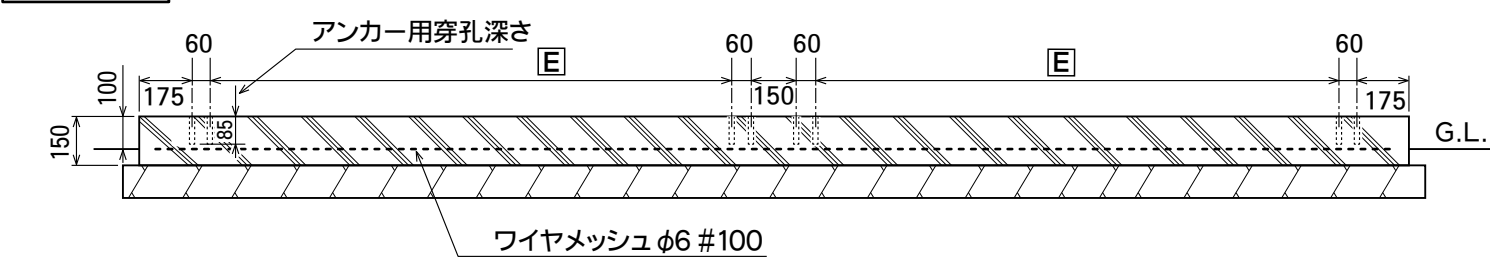
※ この基礎図は標準を示しています。現場の実情に合わせて、ご設計ください。

- ※基礎は別途施工となります。（養生期間28日以上）
- ※コンクリート基礎施工の際は、この基礎図の寸法以上で行ってください。
- ※コンクリート基礎の圧縮強度は $F_c=21\text{N/mm}^2$ とし、ワイヤメッシュφ6（縦横100mmピッチ）で補強してください。
- ※アンカーボルトは、必ず付属のものをご使用ください。
- ※安全のため、基準風速 $V_0\ 34\text{ m/s}$ 以下の地域でご使用ください。

基礎伏せ図（単位は mm）



基礎正面図

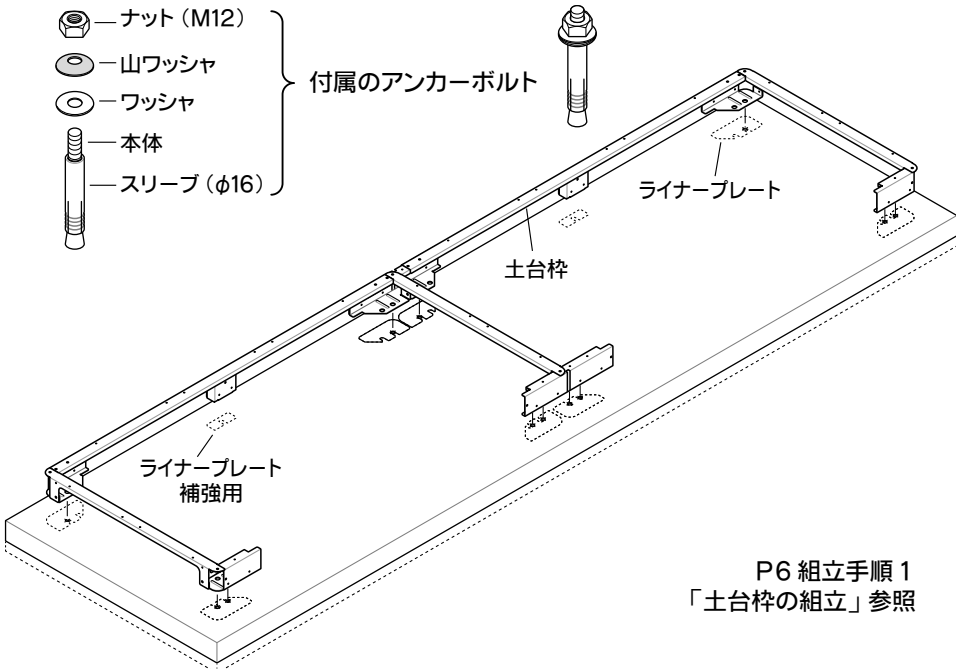
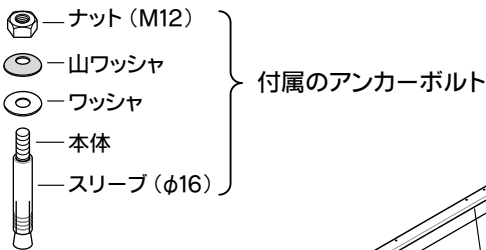


【各部の寸法】

(単位は mm)

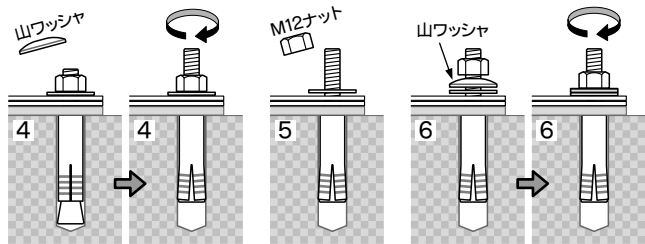
機種	A	B	C	D	E	F	G
4010型	4200	1850	1200	853	1730	3943	2037
4206型	4400	1950	800	453	1830	4075	2002
5010型	5200	2350	1200	853	2230	4924	2500

【アンカー施工の要領】



※土台枠を組み立ててからアンカー施工を行います。

1. 基礎伏せ図に従って基礎に印を付け、土台枠の穴位置と合っているか確認してください。
2. φ16.5mm、深さ85mmの穴をあけてください。（補強ワイヤメッシュとの取り扱いにご注意ください）
3. ライナープレートt6.0を1枚ずつ敷いて土台枠をのせ、水平を確認します。予備のライナープレートで、高さを調節してください。
4. 付属のアンカーボルトは、山ワッシャを除いて組み、手で軽く締め付けてから穴に差し込み、工具でナットをしっかり締め付けて、スリーブを固定します。（締付トルク：20N・m）



5. ナットを一度ゆるめめます。
6. P22「屋根の組立」後、ナットとワッシャの間に山ワッシャを入れて、山ワッシャがつぶれるまで締め付け、さらに、もう1回転締め付けて完了です。（締付トルク：35N・m）

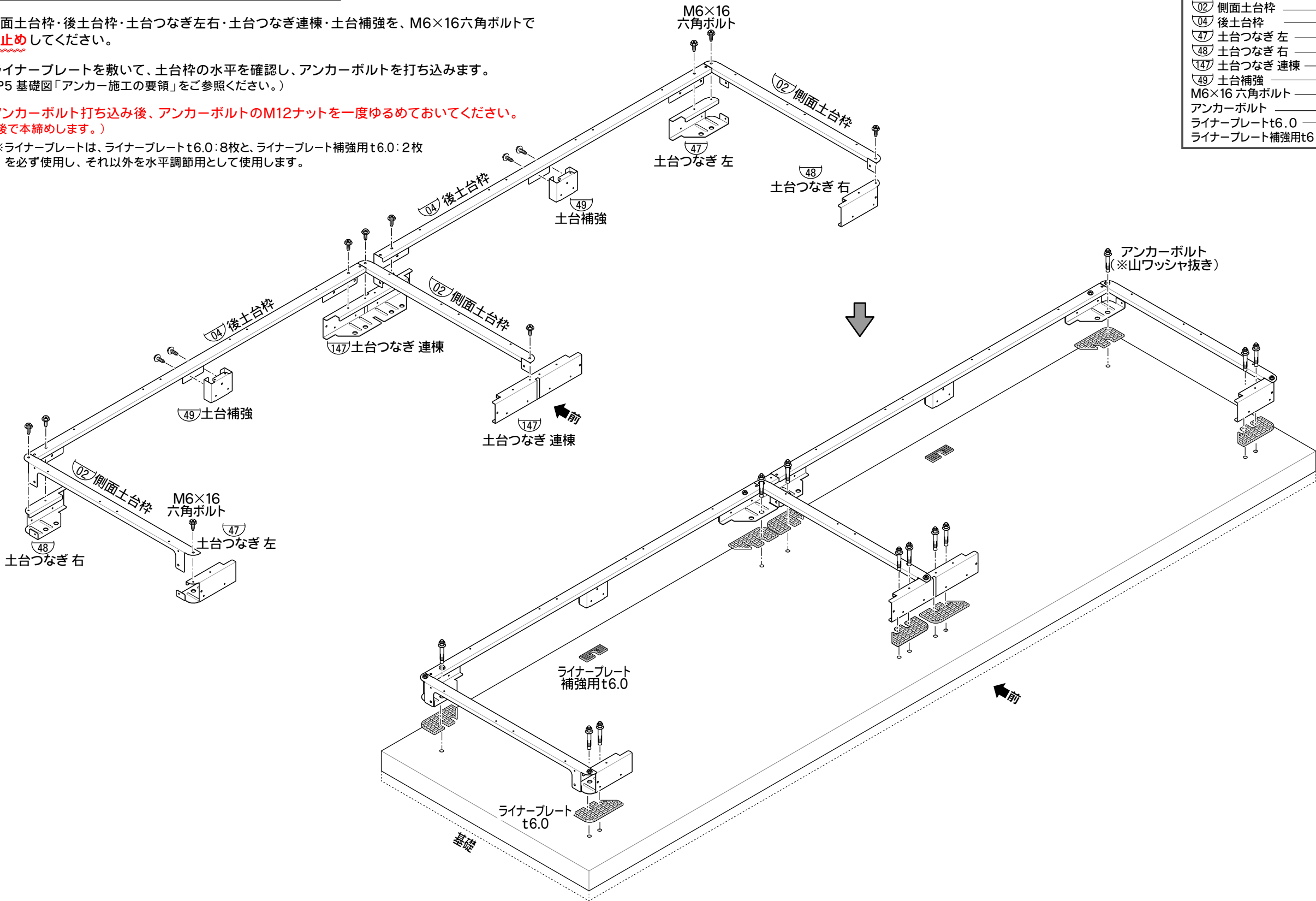
注：山ワッシャは一度つぶれると、ゆるめることはできませんのでご注意ください。

[4] 組立手順

1-1.土台枠の組立 (GB-4010 / 5010)

1. 側面土台枠・後土台枠・土台つなぎ左右・土台つなぎ連棟・土台補強を、M6×16六角ボルトで仮止めしてください。
2. ライナープレート敷いて、土台枠の水平を確認し、アンカーボルトを打ち込みます。
(P5 基礎図「アンカー施工の要領」をご参照ください。)
3. アンカーボルト打ち込み後、アンカーボルトのM12ナットを一度ゆるめておいてください。
(後で本締めします。)
- ※ライナープレートは、ライナープレートt6.0:8枚と、ライナープレート補強用t6.0:2枚を必ず使用し、それ以外を水平調節用として使用します。

使用部品		
02	側面土台枠	3
04	後土台枠	2
47	土台つなぎ 左	2
48	土台つなぎ 右	2
147	土台つなぎ 連棟	2
49	土台補強	2
M6×16 六角ボルト		14
アンカーボルト		12
ライナープレートt6.0		8
ライナープレート補強用t6.0		2



1-2. 土台枠の組立 (GB-4206)

1. 前土台枠・側面土台枠・後土台枠・土台つなぎ左右・土台つなぎ連棟・土台補強を、M6×16六角ボルトで
仮止めしてください。

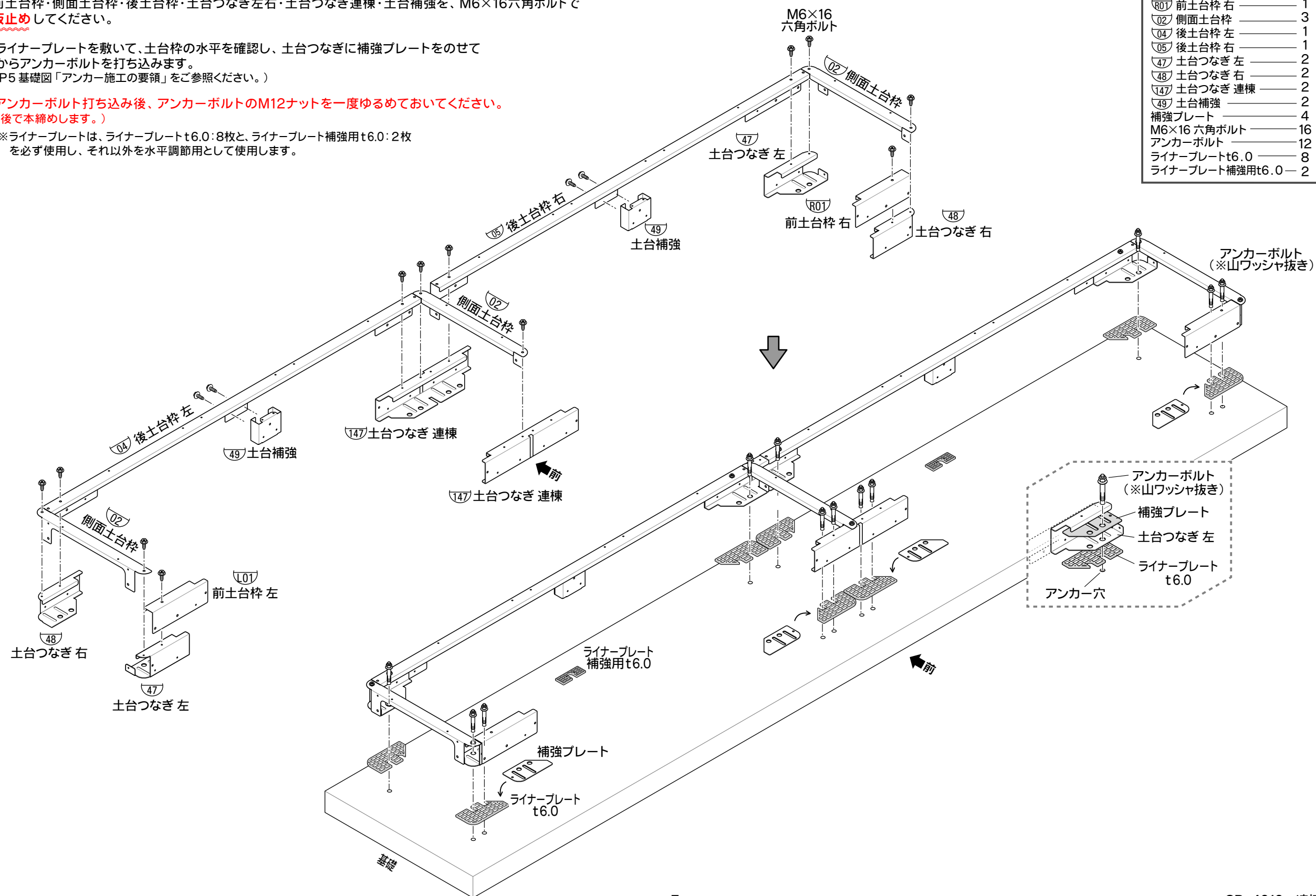
2. ライナープレート敷いて、土台枠の水平を確認し、土台つなぎに補強プレートをのせて
からアンカーボルトを打ち込みます。
(P5 基礎図「アンカー施工の要領」をご参照ください。)

3. アンカーボルト打ち込み後、アンカーボルトのM12ナットを一度ゆるめておいてください。
(後で本締めします。)

※ライナープレートは、ライナープレートt6.0:8枚と、ライナープレート補強用t6.0:2枚
を必ず使用し、それ以外を水平調節用として使用します。

使用部品

①01	前土台枠 左	1
①01	前土台枠 右	1
①02	側面土台枠	3
①04	後土台枠 左	1
①05	後土台枠 右	1
①47	土台つなぎ 左	2
①48	土台つなぎ 右	2
①47	土台つなぎ 連棟	2
①49	土台補強	2
	補強プレート	4
	M6×16 六角ボルト	16
	アンカーボルト	12
	ライナープレートt6.0	8
	ライナープレート補強用t6.0	2



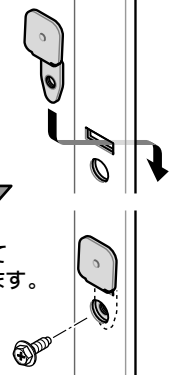
2. 柱連棟の組立

■ネジ板の使い方

角穴に差し込み、



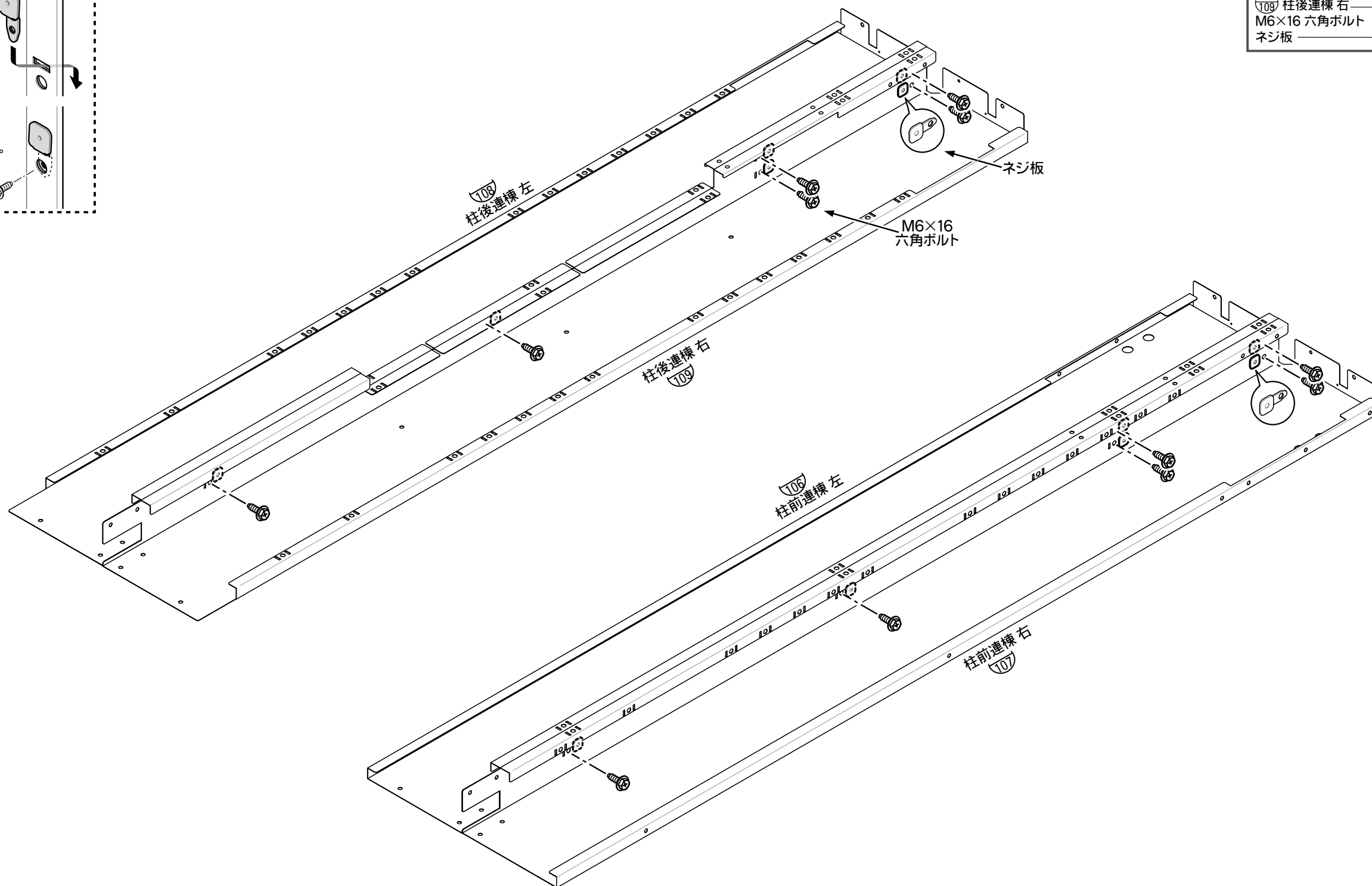
穴を合わせてネジ止めします。



柱後連棟左(108)と柱後連棟右(109)をネジ止めしてください。(柱前連棟左(106)と柱前連棟右(107)も同様にネジ止めしてください。)

使用部品

106	柱前連棟 左	1
107	柱前連棟 右	1
108	柱後連棟 左	1
109	柱後連棟 右	1
	M6×16 六角ボルト	12
	ネジ板	12

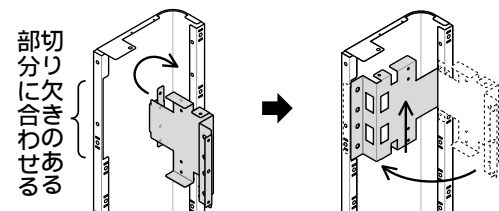


3-1. 柱の組立 (GB-4010/5010)

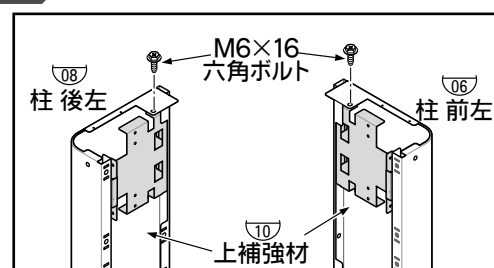
使用部品

06	柱 前左	1
106	柱前連棟 左	1
107	柱前連棟 右	1
08	柱 後左	1
108	柱後連棟 左	1
109	柱後連棟 右	1
10	上補強材	6
11	レール取付枠 左	2
12	レール取付枠 右	1
	M6×16 六角ボルト	39
	M6ナット	2

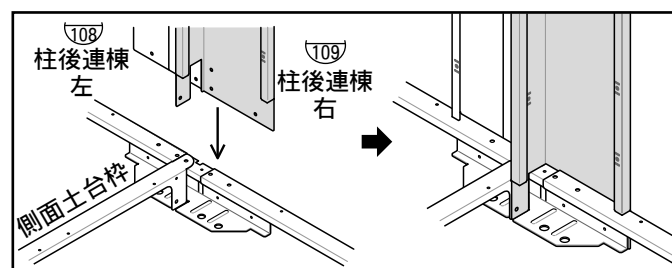
【上補強材の入れ方】



図のように、上補強材を柱の内側に引っ掛けて、切り欠きのある部分にはめ込み、上へ押し上げてネジ止めします。

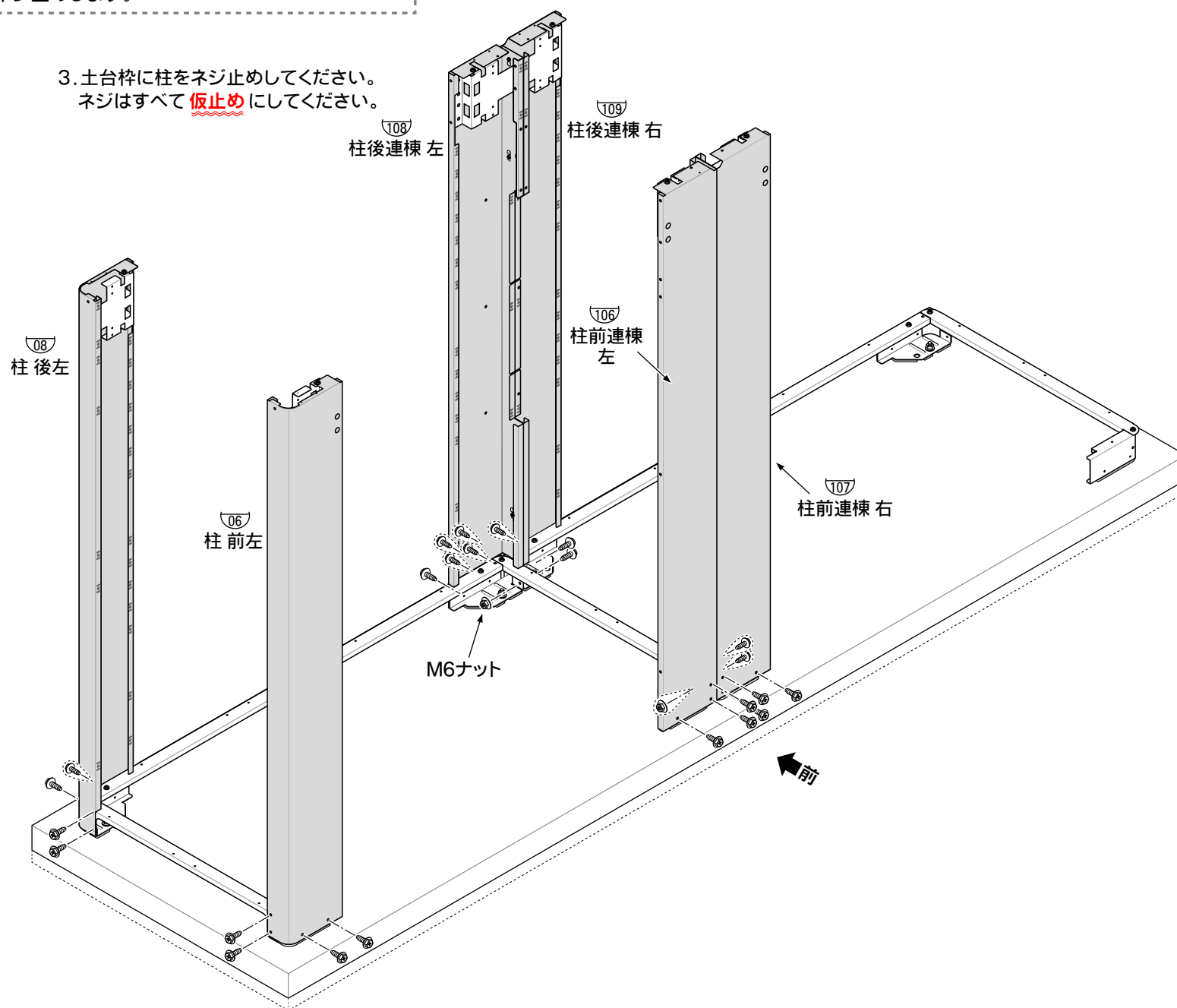


1. 柱の上部に上補強材を取り付けてください。
上からの1ヶ所だけネジ止めします。

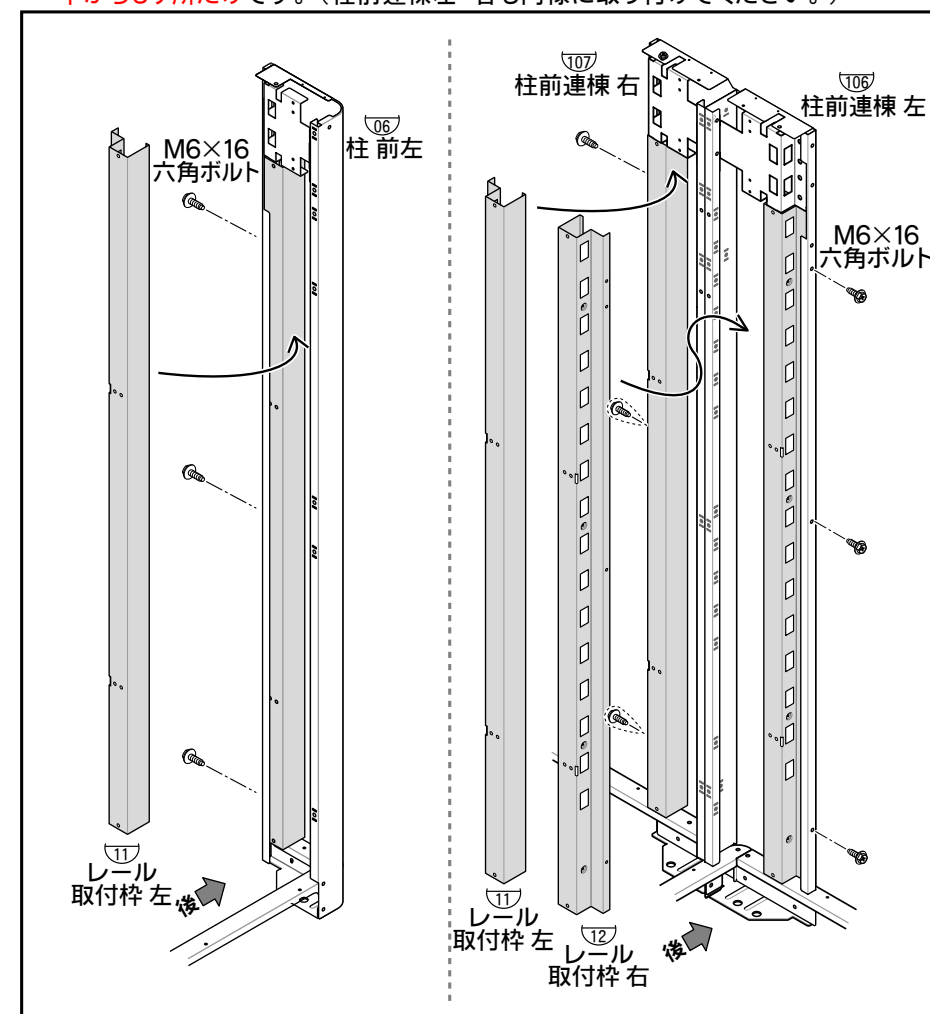


2. 柱連棟右は側面土台枠の右側にかぶせます。

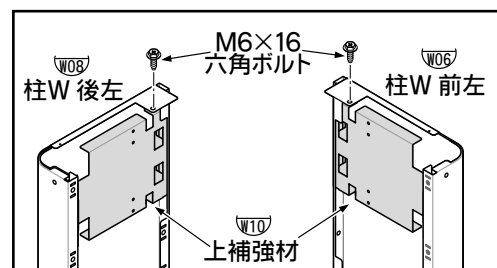
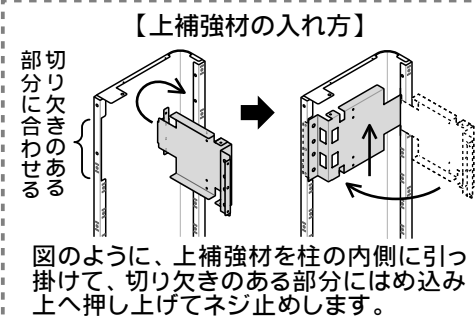
3. 土台枠に柱をネジ止めしてください。
ネジはすべて仮止めにしてください。



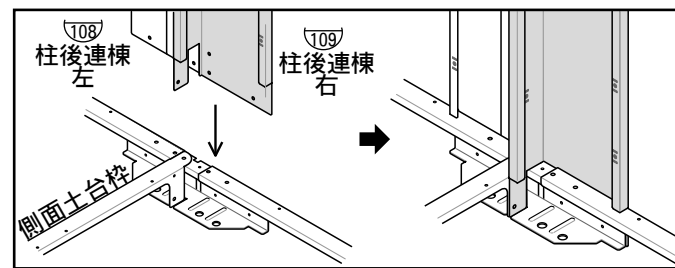
4. 柱前左に、レール取付枠左をネジ止めしてください。ネジ止めするのは、
下から3ヶ所だけです。(柱前連棟左・右も同様に付けてください。)



3-2. 柱の組立 (GB-4206)

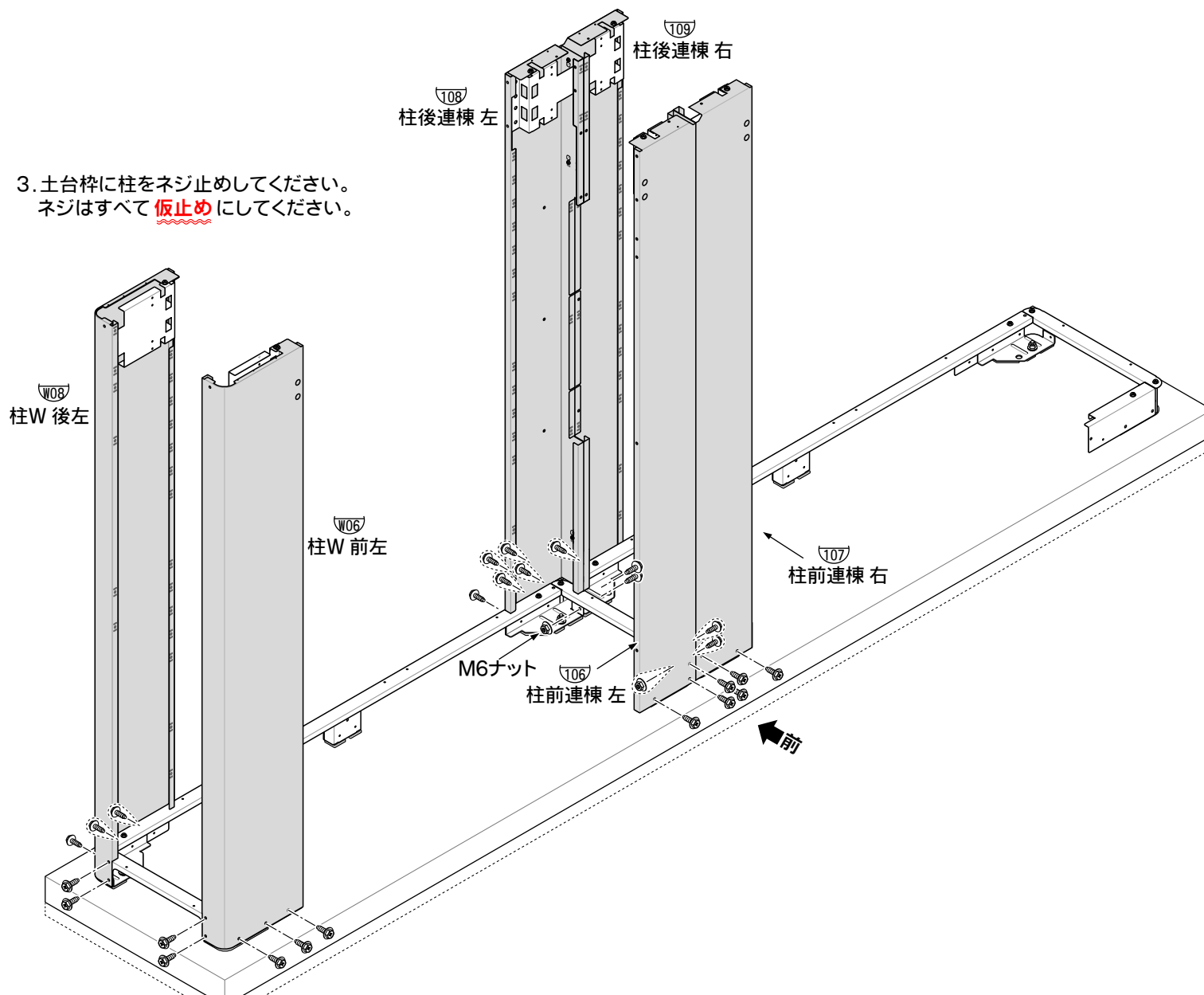


1. 柱の上部に上補強材を取り付けてください。
上からの1ヶ所だけネジ止めします。

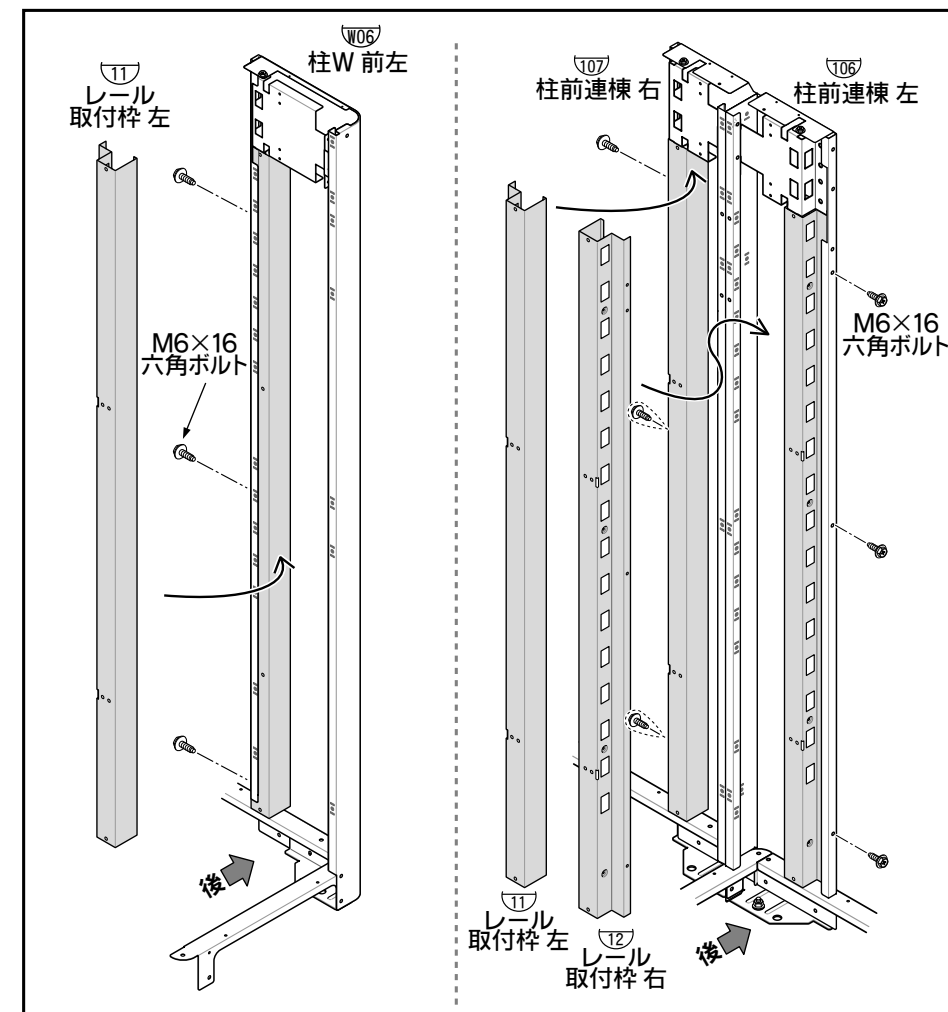


2. 柱連棟右は側面土台枠の右側にかぶせます。

3. 土台枠に柱をネジ止めしてください。
ネジはすべて **仮止め** にしてください。



4. 柱W前左に、レール取付枠左をネジ止めしてください。ネジ止めするのは、
下から3ヶ所だけです。(柱前連棟左・右も同様にに取り付けてください。)



使用部品

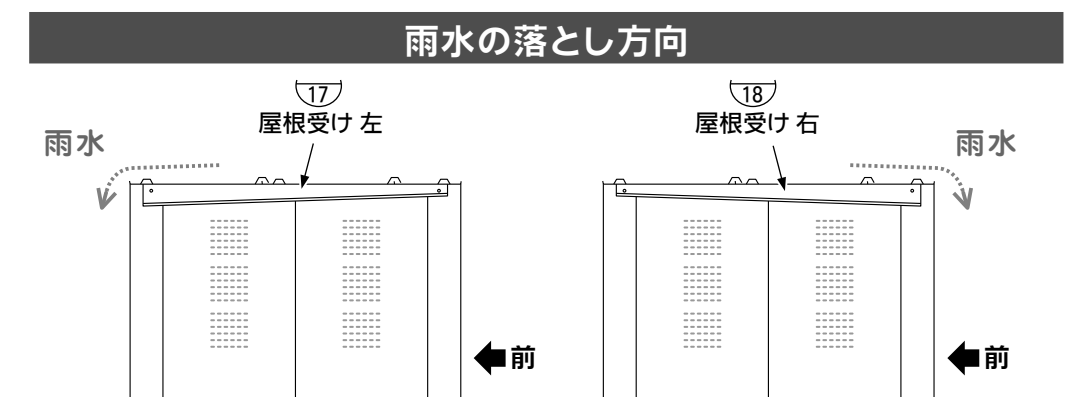
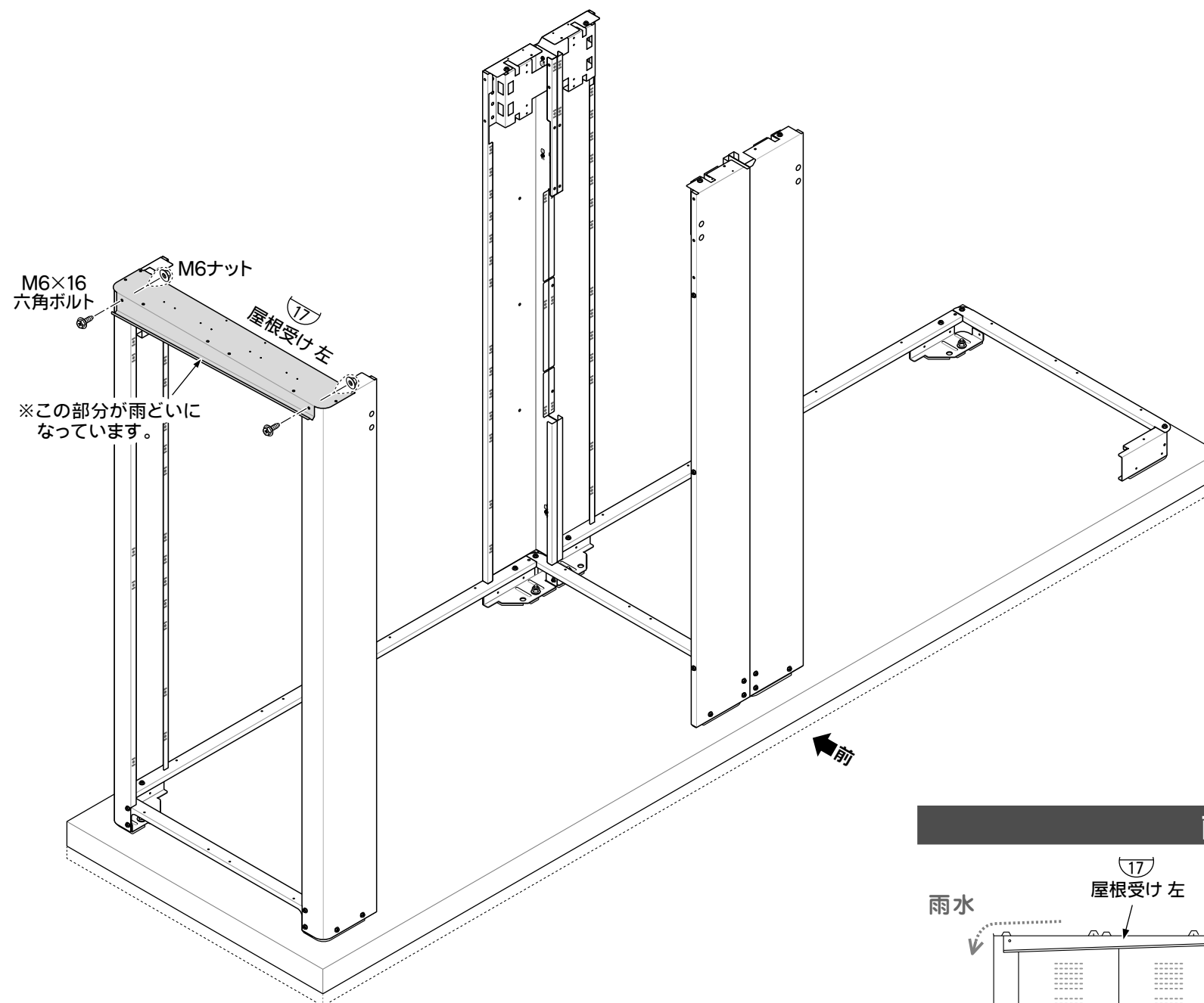
W06	柱W 前左	1
106	柱前連棟 左	1
107	柱前連棟 右	1
W08	柱W 後左	1
108	柱後連棟 左	1
109	柱後連棟 右	1
10	上補強材	4
W10	上補強材	2
11	レール取付枠 左	2
12	レール取付枠 右	2
M6×16	六角ボルト	41
M6	ナット	2

4-1. 屋根受けの組立 (GB-4010/5010)

- 屋根受けをボルトとナットで取り付けてください。この時、左右を入れ替えることによって、雨水を落とす方向を変えられます。
- このボルト・ナットは 仮止め (手で軽く締める) にしておいてください。

使用部品

⑰ 屋根受け 左	1
M6×16 六角ボルト	2
M6ナット	2

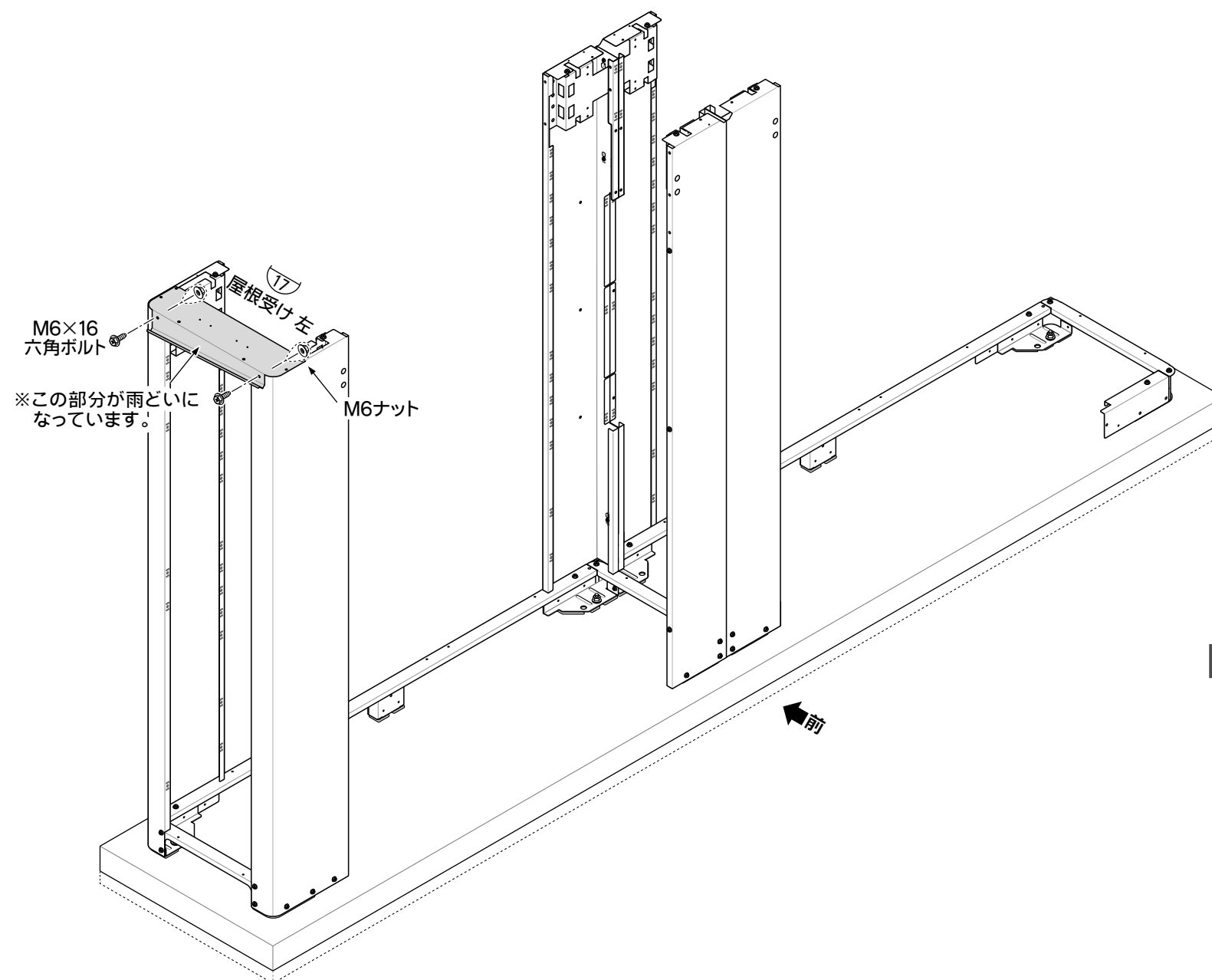


4-2. 屋根受けの組立 (GB-4206)

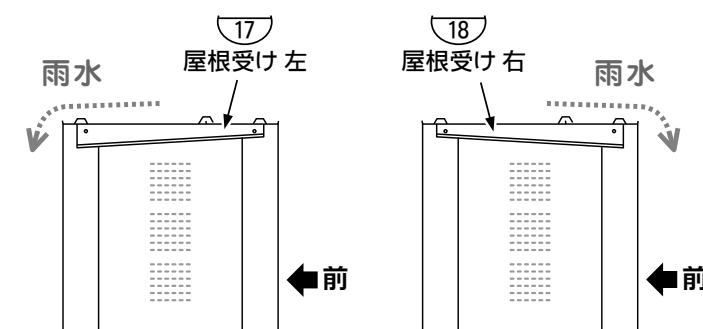
- 屋根受けをボルトとナットで取り付けてください。この時、左右を入れ替えることによって、雨水を落とす方向を変えられます。
- このボルト・ナットは **仮止め** (手で軽く締める) にしておいてください。

使用部品

(17) 屋根受け 左	1
M6×16 六角ボルト	2
M6ナット	2

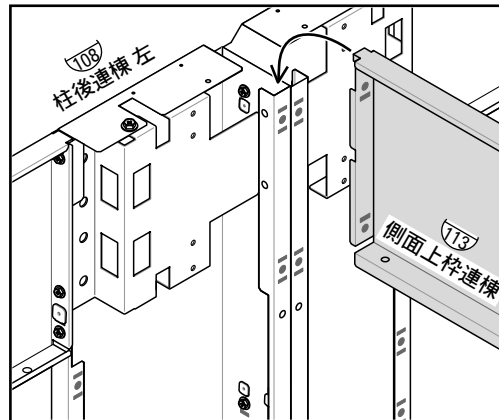


雨水の落とし方向

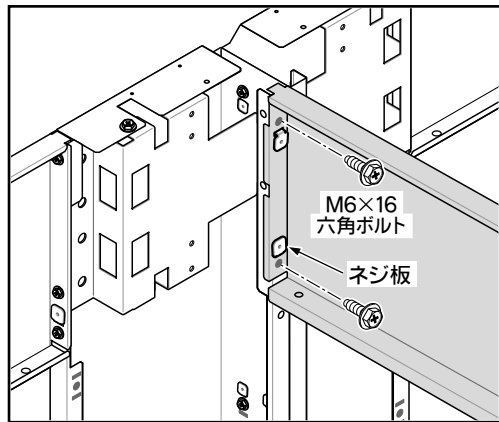


5.側面上枠連棟の組立

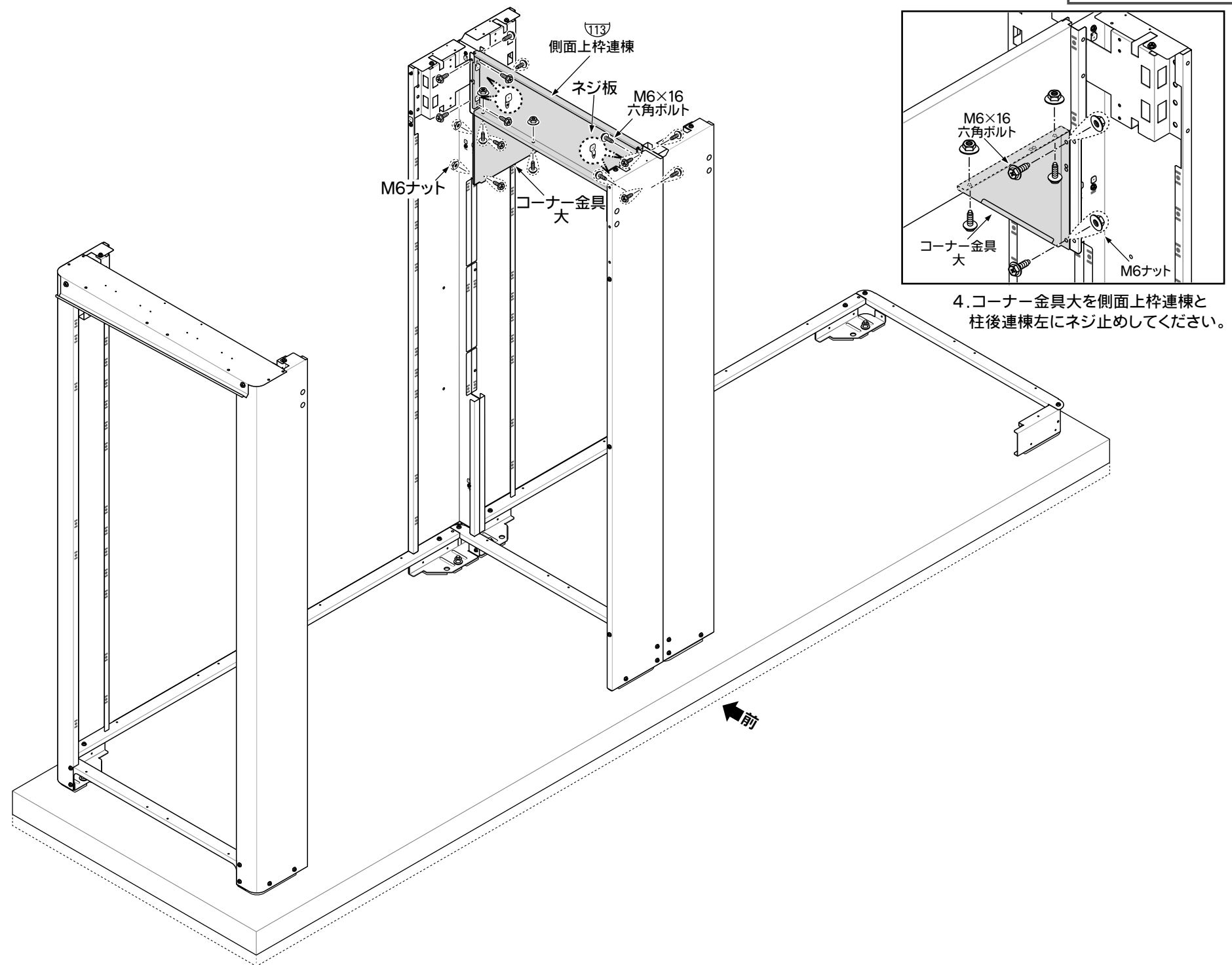
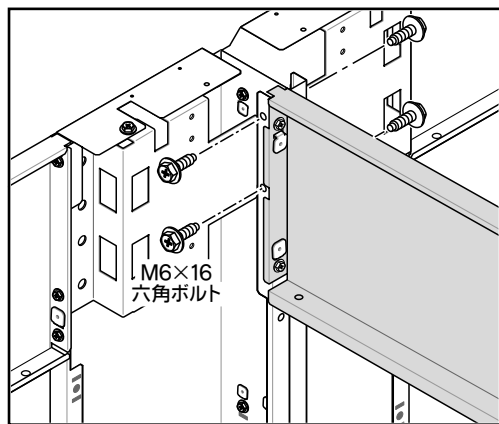
1.側面上枠連棟を、ツメで柱に引っ掛けてください。



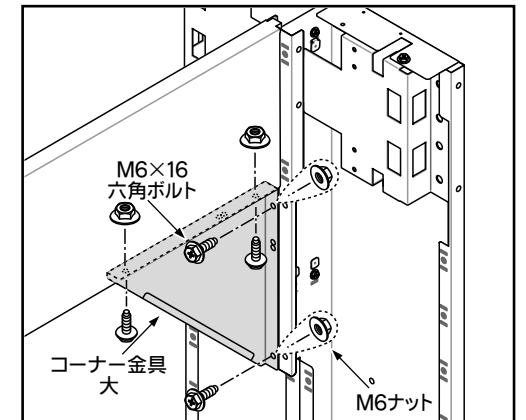
2.側面上枠連棟のネジ止めには、ネジ板を使い、**仮止め**してください。
(前側も同様にネジ止めしてください。)



3.柱連棟上部の上補強材もネジ止めしてください。
(前側も同様にネジ止めしてください。)



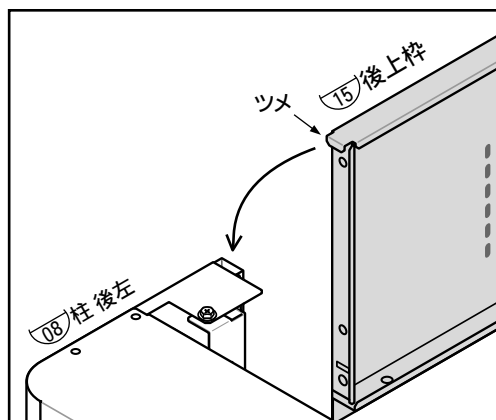
4.コーナー金具大を側面上枠連棟と柱後連棟左にネジ止めしてください。



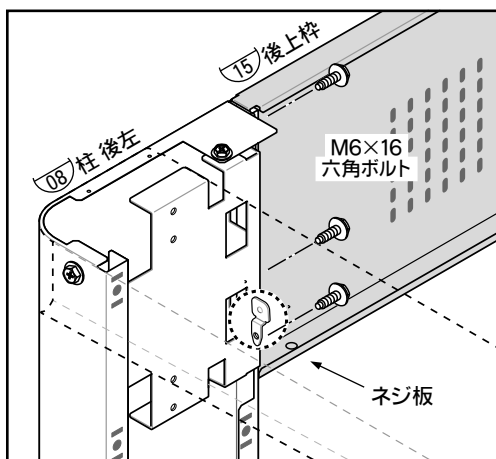
使用部品	
113 側面上枠連棟	1
コーナー金具 大	1
ネジ板	4
M6x16 六角ボルト	16
M6ナット	4

6. 前上枠・後上枠の組立

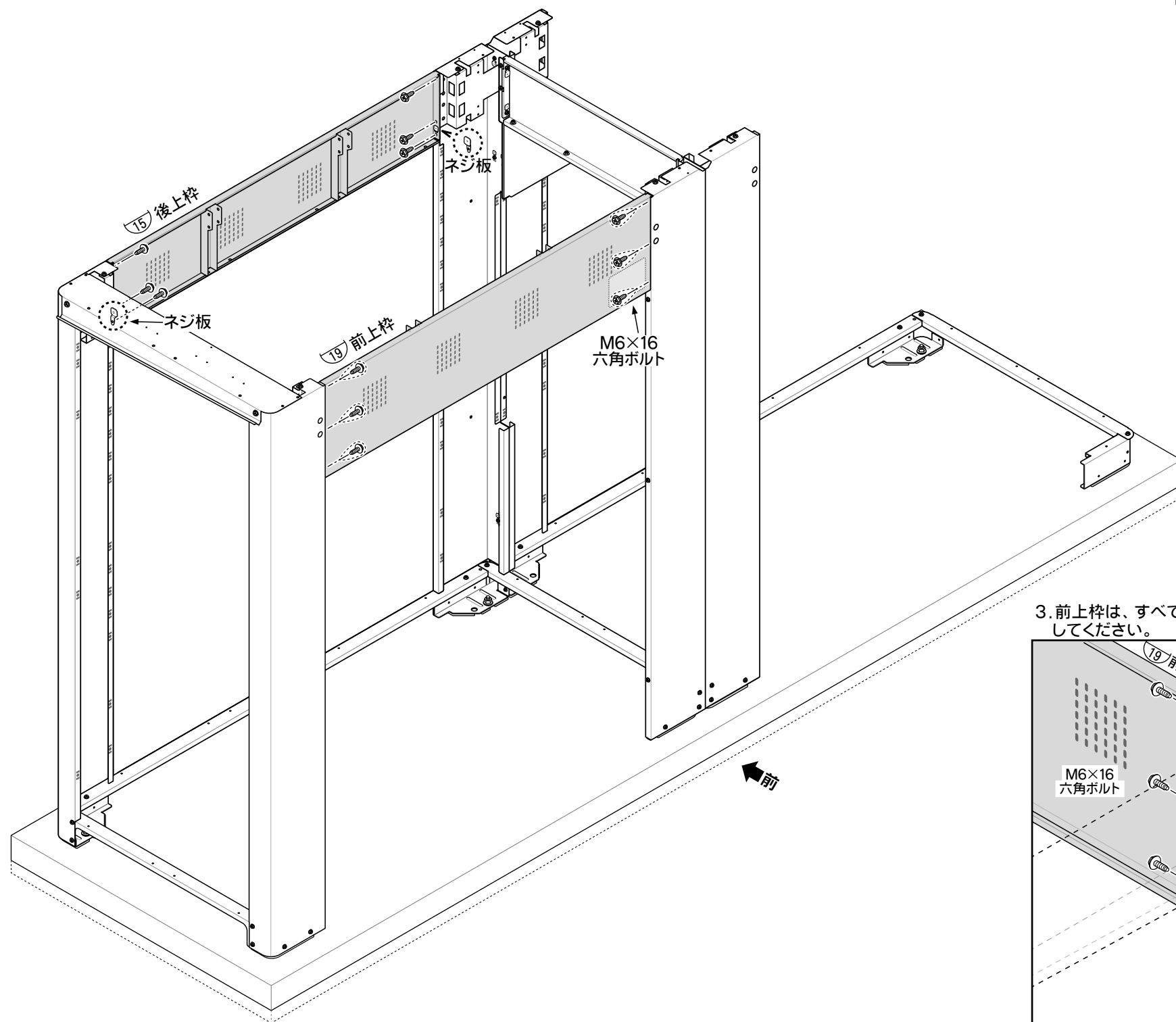
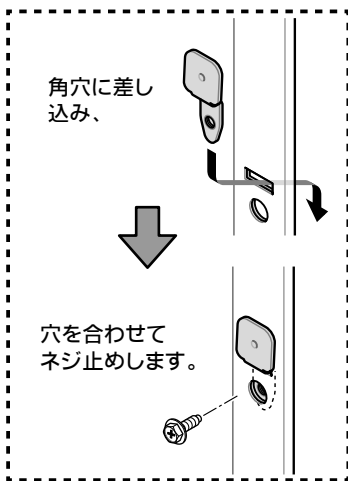
1. 前上枠・後上枠は、ツメを柱に引っ掛けてから**仮止め**してください。



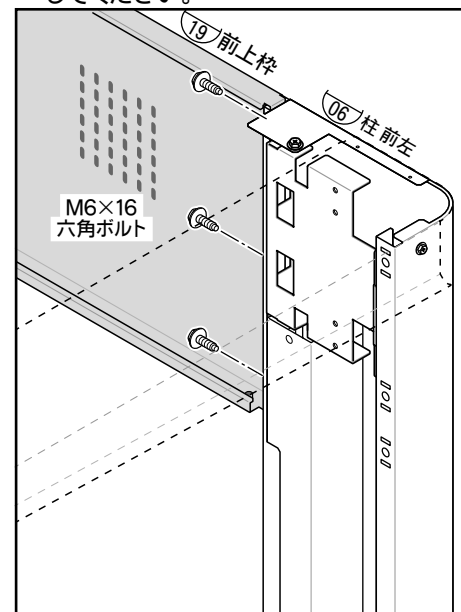
2. 後上枠の場合、いちばん下のネジ止めにはネジ板を使用します。



■ネジ板の使い方



3. 前上枠は、すべてボルトで**仮止め**してください。



使用部品

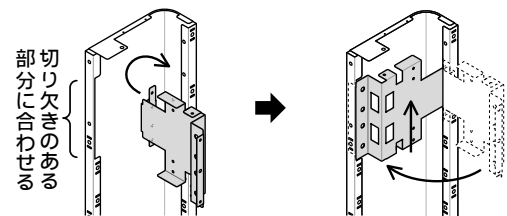
15 後上枠	1
19 前上枠	1
ネジ板	2
M6×16 六角ボルト	12

7-1. 柱の組立 (GB-4010/5010)

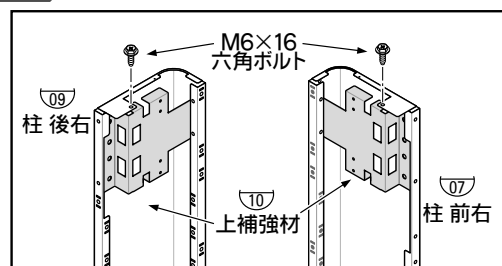
使用部品

07	柱 前右	1
09	柱 後右	1
10	上補強材	2
12	レール取付枠 右	1
	M6×16 六角ボルト	13

【上補強材の入れ方】

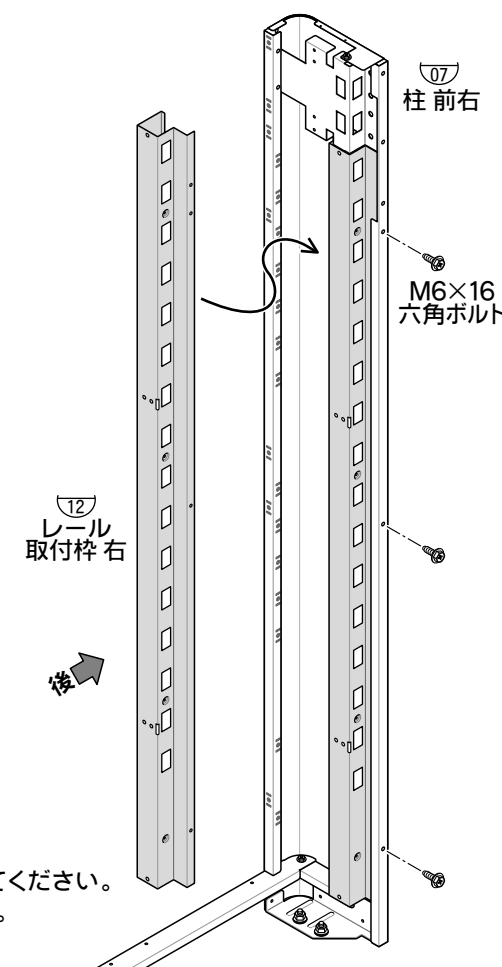
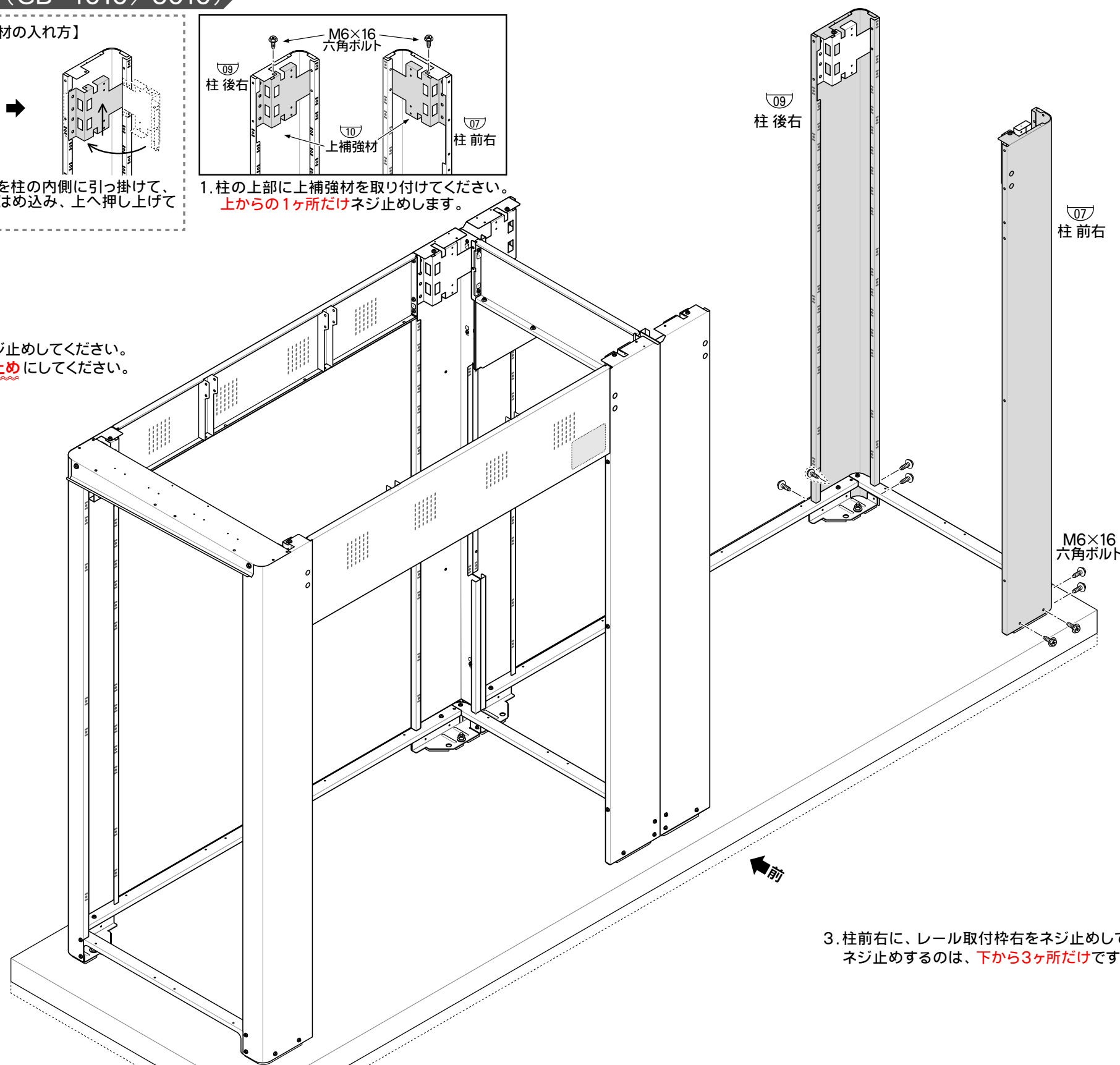


図のように、上補強材を柱の内側に引っ掛けて、切り欠きのある部分にはめ込み、上へ押し上げてネジ止めします。



1. 柱の上部に上補強材を取り付けてください。
上からの1ヶ所だけネジ止めします。

2. 土台枠に柱をネジ止めしてください。
ネジはすべて **仮止め** にしてください。

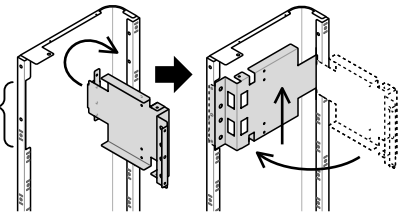


3. 柱前右に、レール取付枠右をネジ止めしてください。
ネジ止めするのは、**下から3ヶ所**だけです。

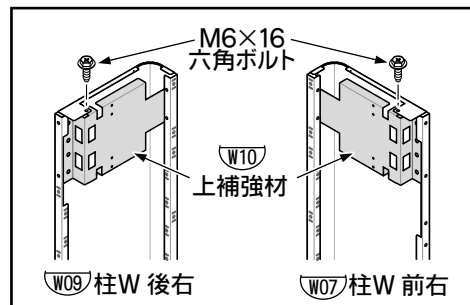
7-2. 柱の組立 (GB-4206)

【上補強材の入れ方】

部分に
切り欠き
がある

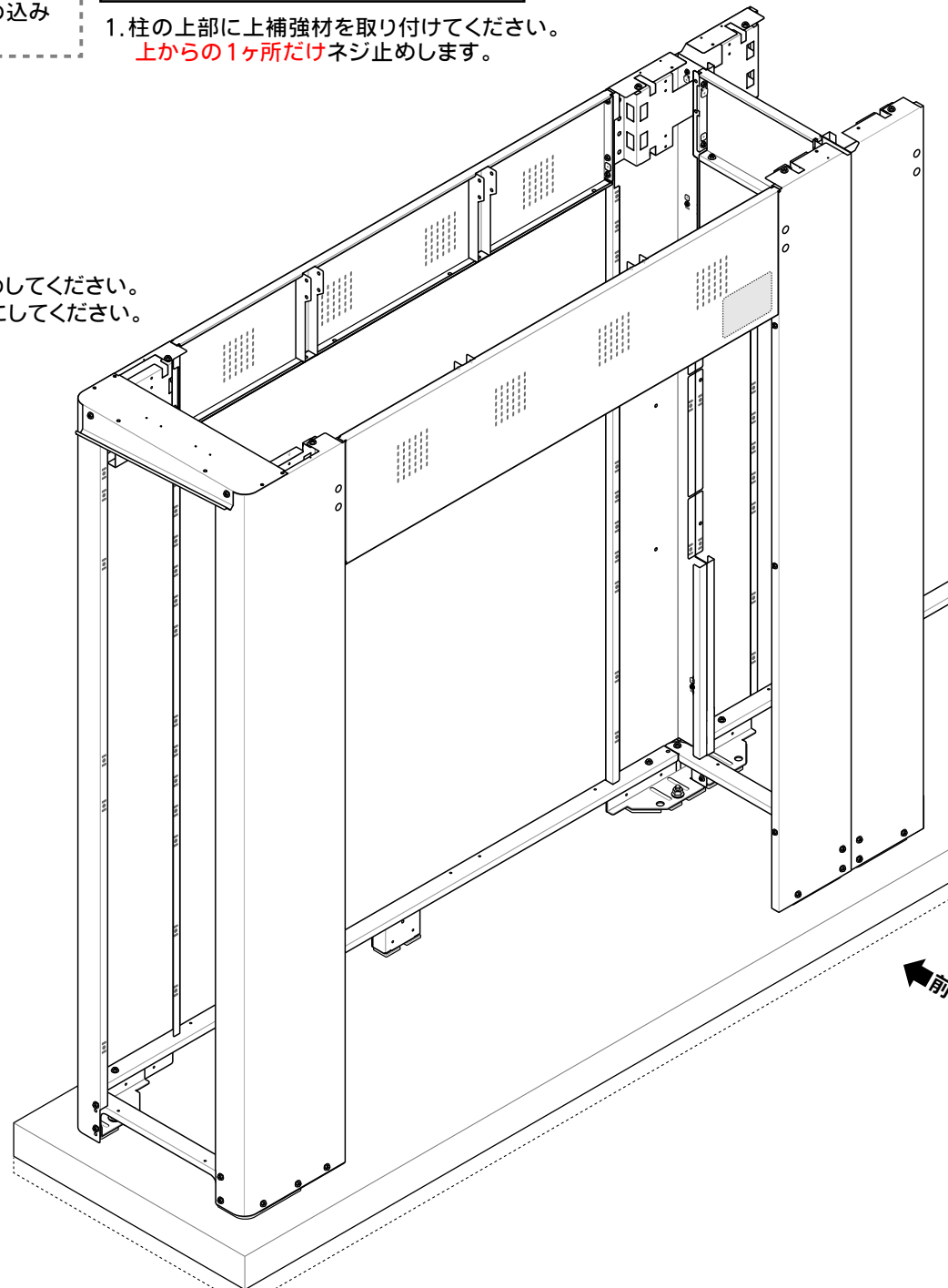


図のように、上補強材を柱の内側に引っ掛けて、切り欠きのある部分にはめ込み上へ押し上げてネジ止めします。



1. 柱の上部に上補強材を取り付けてください。
上からの1ヶ所だけネジ止めします。

2. 土台枠に柱をネジ止めしてください。
ネジはすべて **仮止め** にしてください。



3. 柱W前右に、レール取付枠右をネジ止めしてください。
ネジ止めするのは、**下から3ヶ所**だけです。

使用部品	
W07 柱W 前右	1
W09 柱W 後右	1
W10 上補強材	2
12 レール取付枠 右	1
M6×16 六角ボルト	15

W09 柱W 後右

W07 柱W 前右

M6×16
六角ボルト

12
レール
取付枠 右

W07 柱W 前右

M6×16
六角ボルト

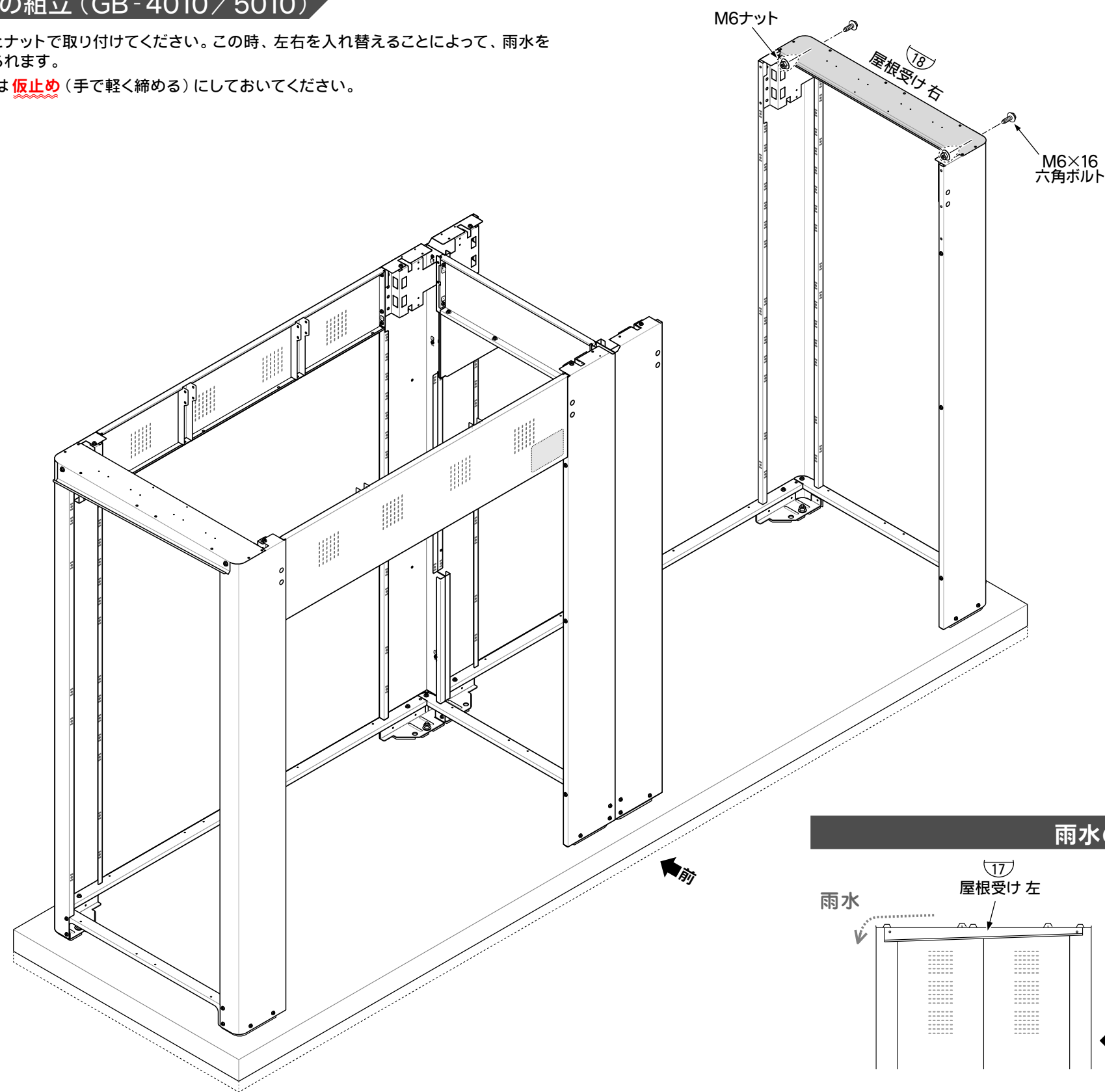
後

8-1. 屋根受けの組立 (GB-4010/5010)

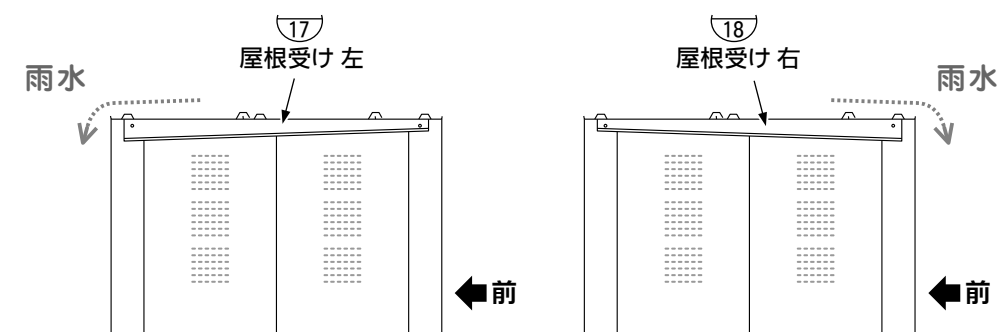
- 屋根受けをボルトとナットで取り付けてください。この時、左右を入れ替えることによって、雨水を落とす方向を変えられます。
- このボルト・ナットは **仮止め** (手で軽く締める) にしておいてください。

使用部品

18 屋根受け 右	1
M6×16 六角ボルト	2
M6ナット	2



雨水の落とし方向

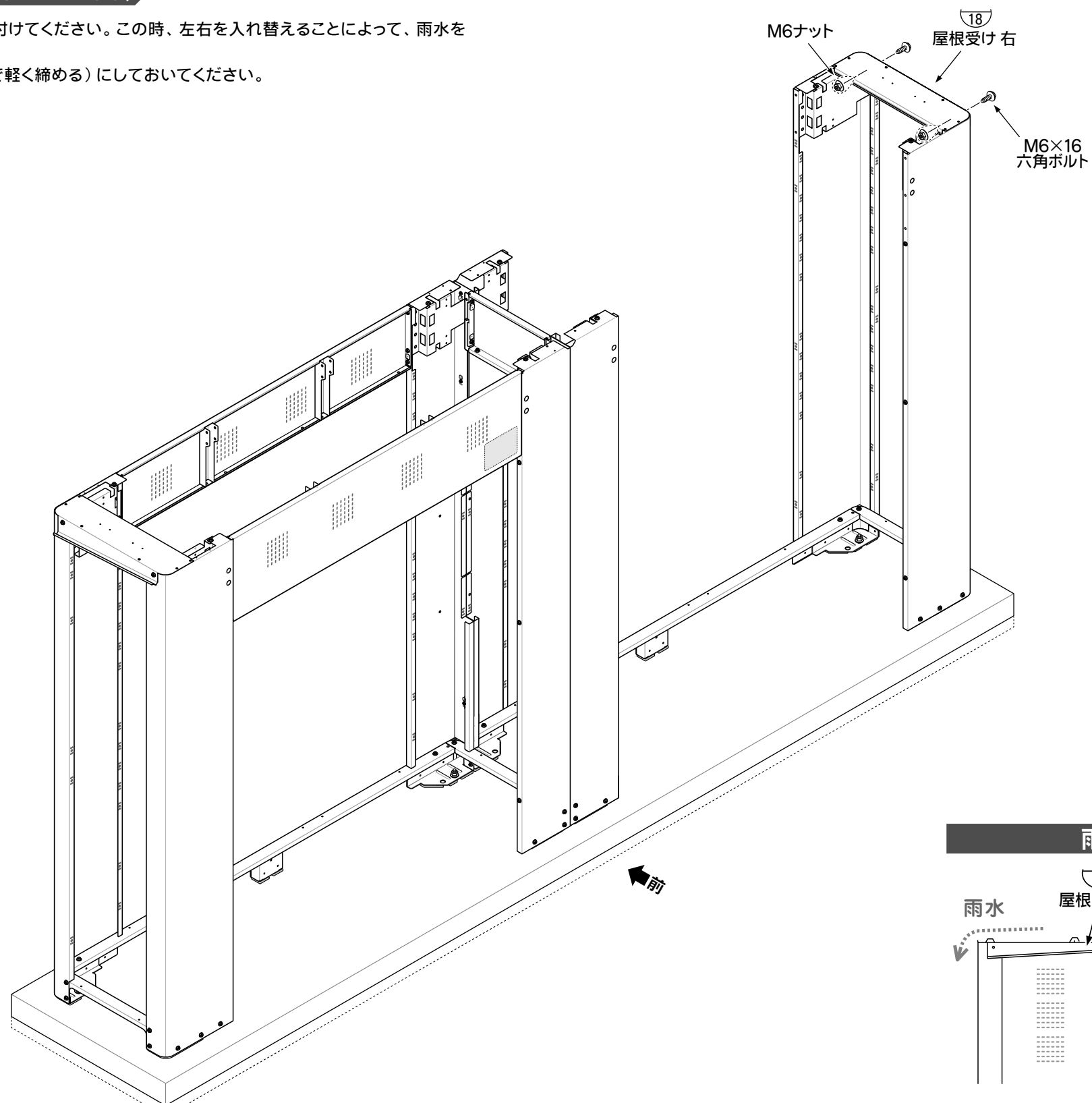


8-2. 屋根受けの組立 (GB-4206)

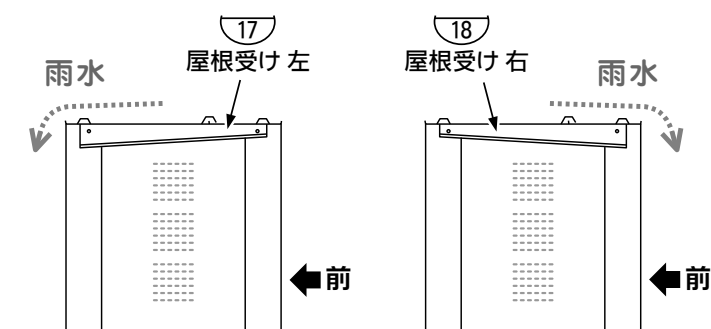
- 屋根受けをボルトとナットで取り付けてください。この時、左右を入れ替えることによって、雨水を落とす方向を変えられます。
- このボルト・ナットは **仮止め** (手で軽く締める) にしておいてください。

使用部品

⑮ 屋根受け 左	1
M6×16 六角ボルト	2
M6ナット	2

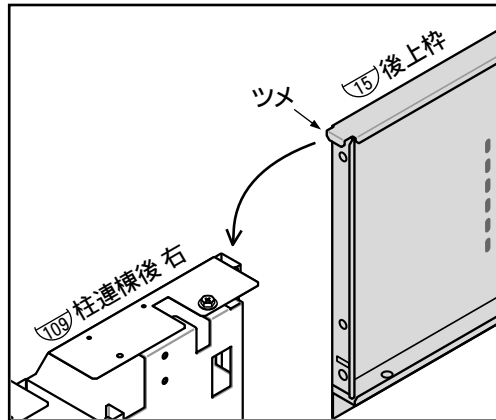


雨水の落とし方向

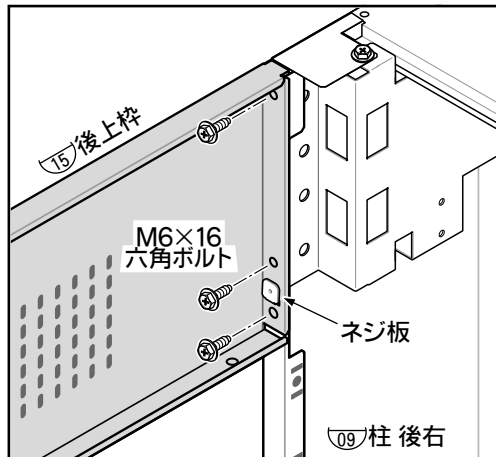


9. 前上枠・後上枠の組立

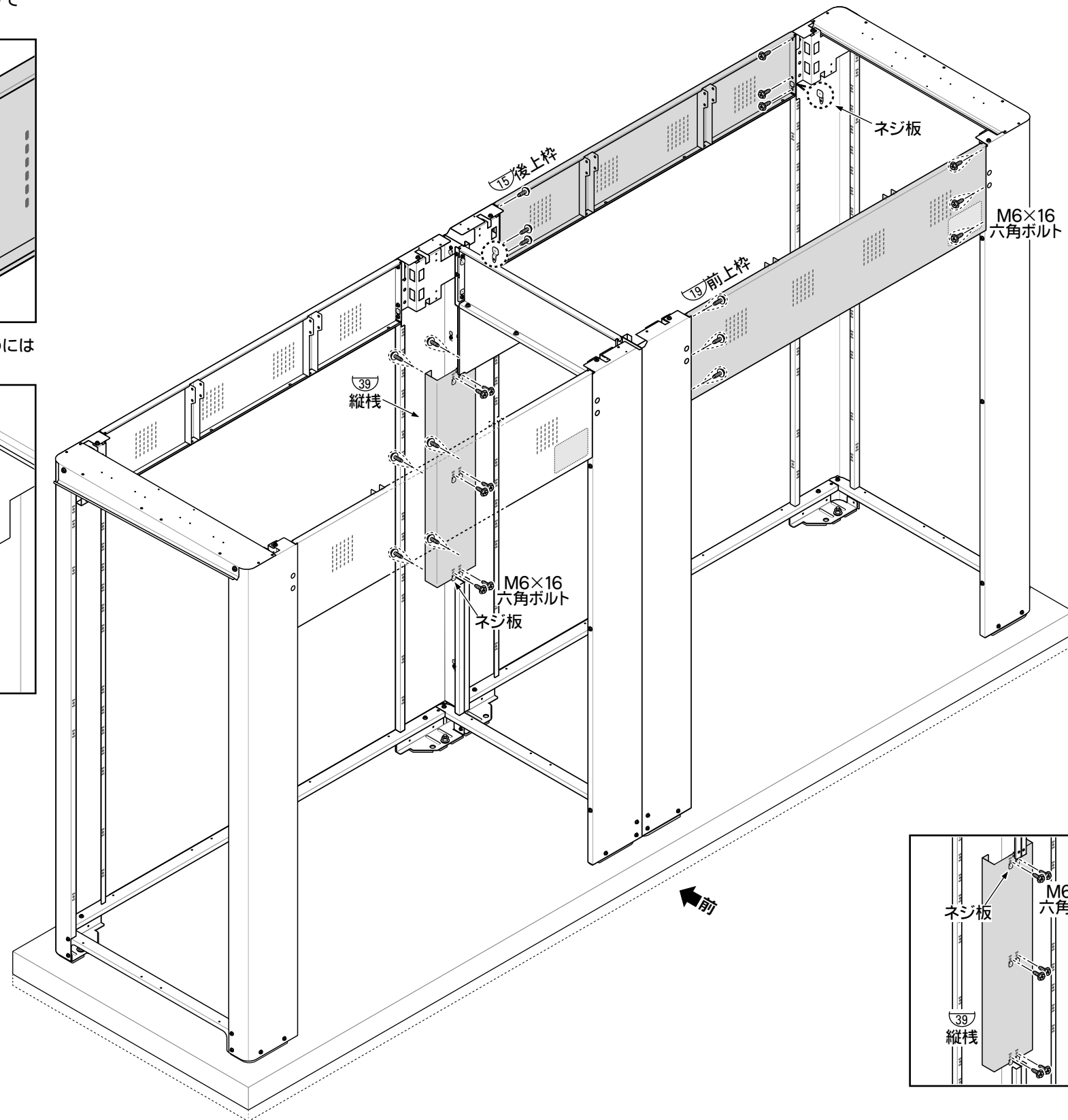
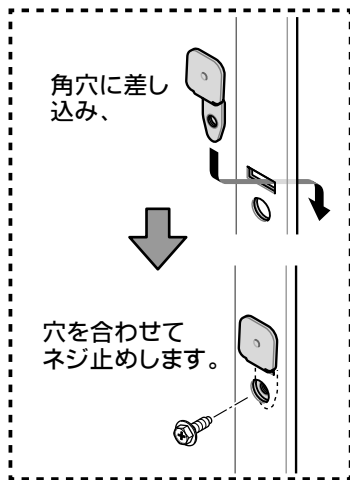
1. 前上枠・後上枠は、ツメを柱に引っ掛けてから**仮止め**してください。



2. 後上枠の場合、いちばん下のネジ止めにはネジ板を使用します。



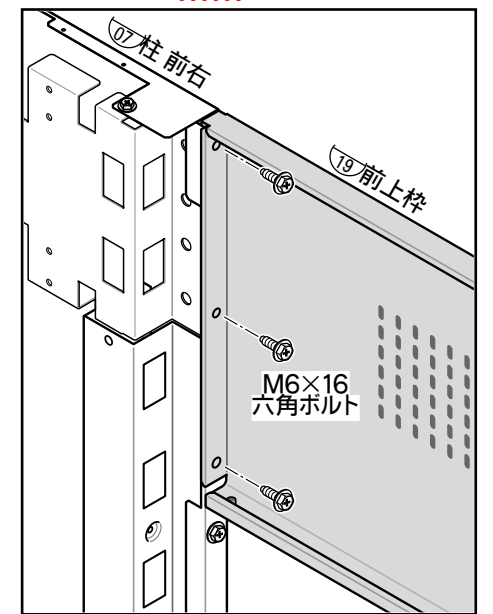
■ネジ板の使い方



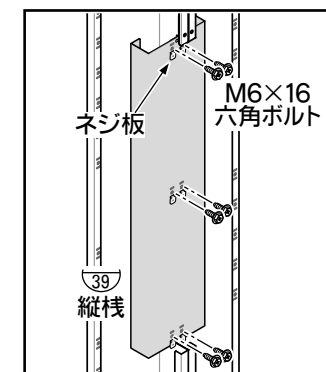
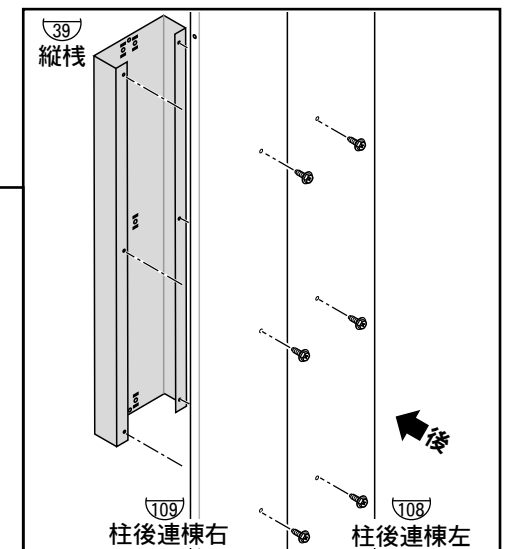
使用部品

15 後上枠	1
19 前上枠	1
39 縦棧	1
ネジ板	8
M6×16 六角ボルト	24

3. 前上枠は、すべてボルトで**仮止め**してください。

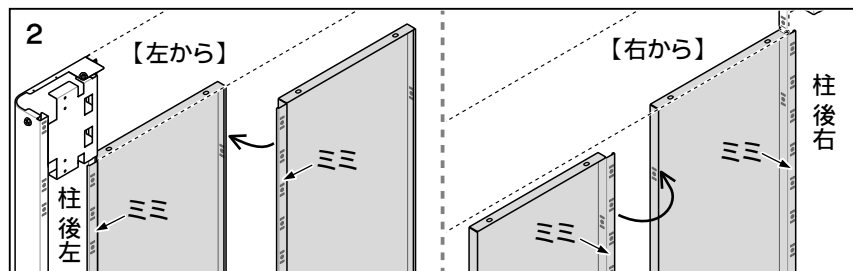


4. 縦棧を柱後連棟にネジ止めしてください。前側のネジ止めにはネジ板を使用します。



10. 壁パネルの組立

1. 壁パネルを取り付けてください。側面には側面壁パネル、背面には壁パネルを取り付けます。

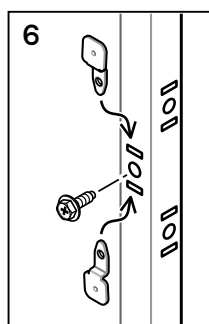


2. 壁パネルは、左右どちらからでも並べられますが、ミミの部分から先に取り付けて、同じ向きに連結してください。

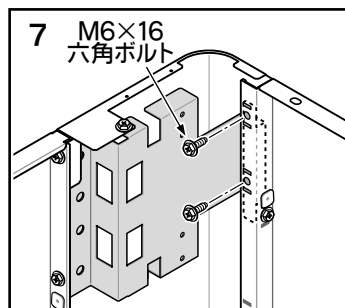
3. 側面壁パネルは、換気孔が上になるように、ミミの部分から先に取り付けてください。

4. 壁パネルの上部は、ボルトとナットで後上枠と屋根受けにネジ止めしてください。

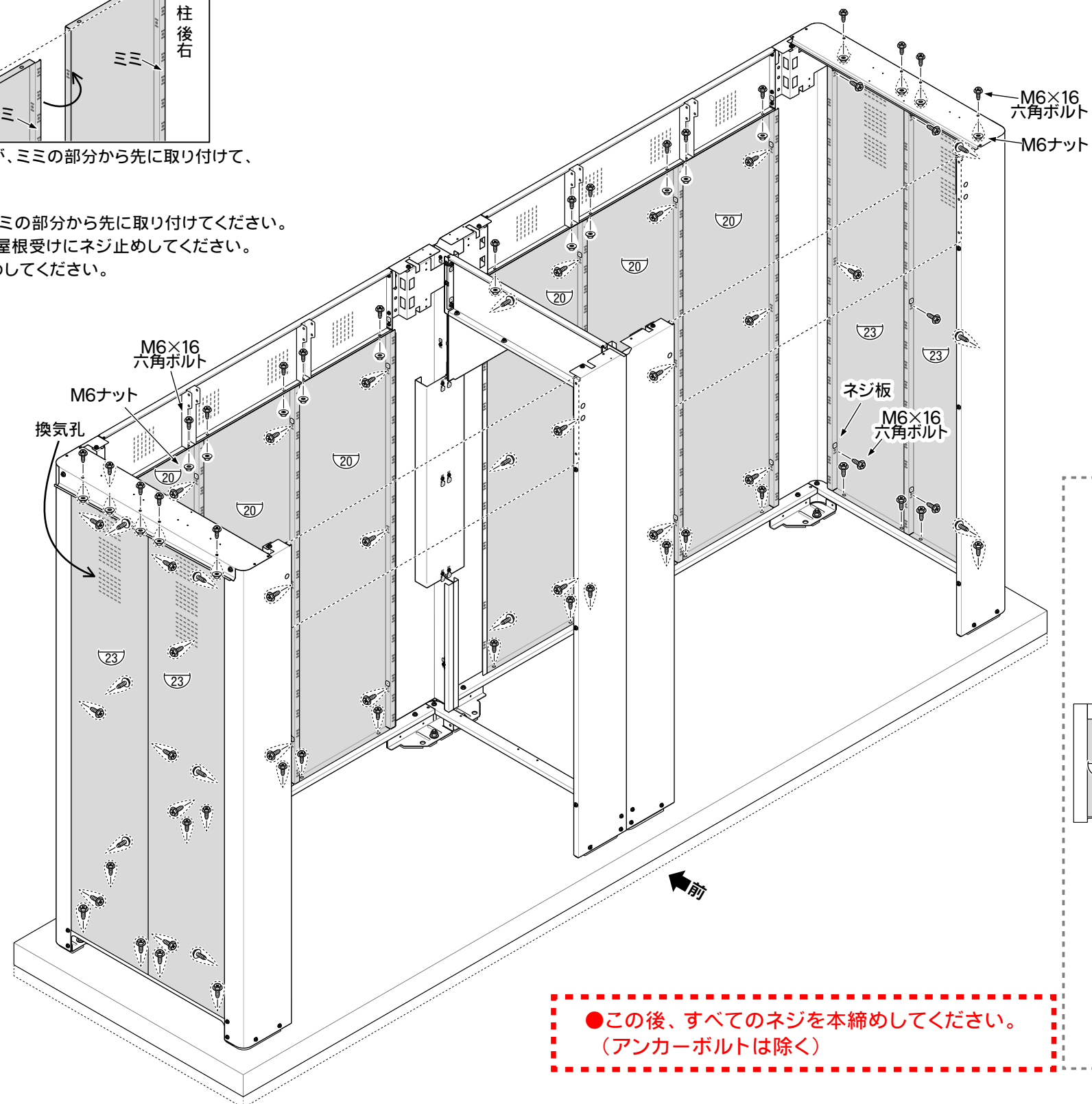
5. 壁パネルの下部は、ボルトで土台枠にネジ止めしてください。



6. 壁パネル同士と柱への取付は、ネジ板を使用してネジ止めしてください。ネジ板は、上下どちらからでも差し込めます。



7. 柱上部の上補強材をネジ止めしてください。



使用部品

20 壁パネル	
4010・4206	6
5010	8

23 側面壁パネル	
4206	2
4010・5010	4

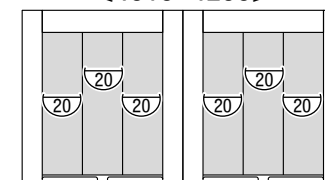
M6×16 六角ボルト	
4010	82
4206	68
5010	96

M6ナット	
4010	20
4206	16
5010	24

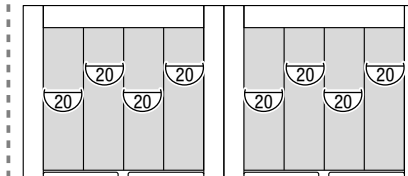
ネジ板	
4010	42
4206	36
5010	48

【背面：壁パネルの配置】

〔4010・4206〕

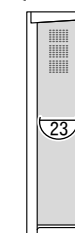


〔5010〕

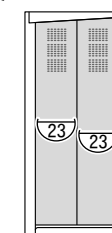


【側面：壁パネルの配置】

〔4206〕

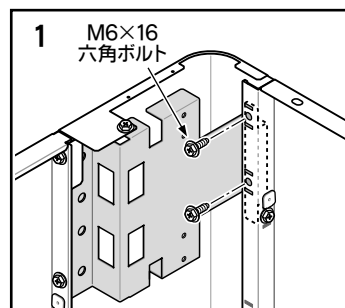


〔4010・5010〕

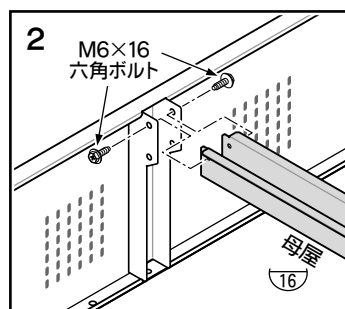


●この後、すべてのネジを本締めしてください。
(アンカーボルトは除く)

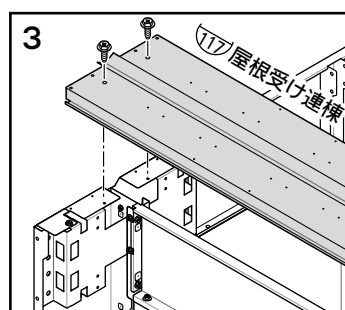
11. 母屋・屋根受け連棟の組立



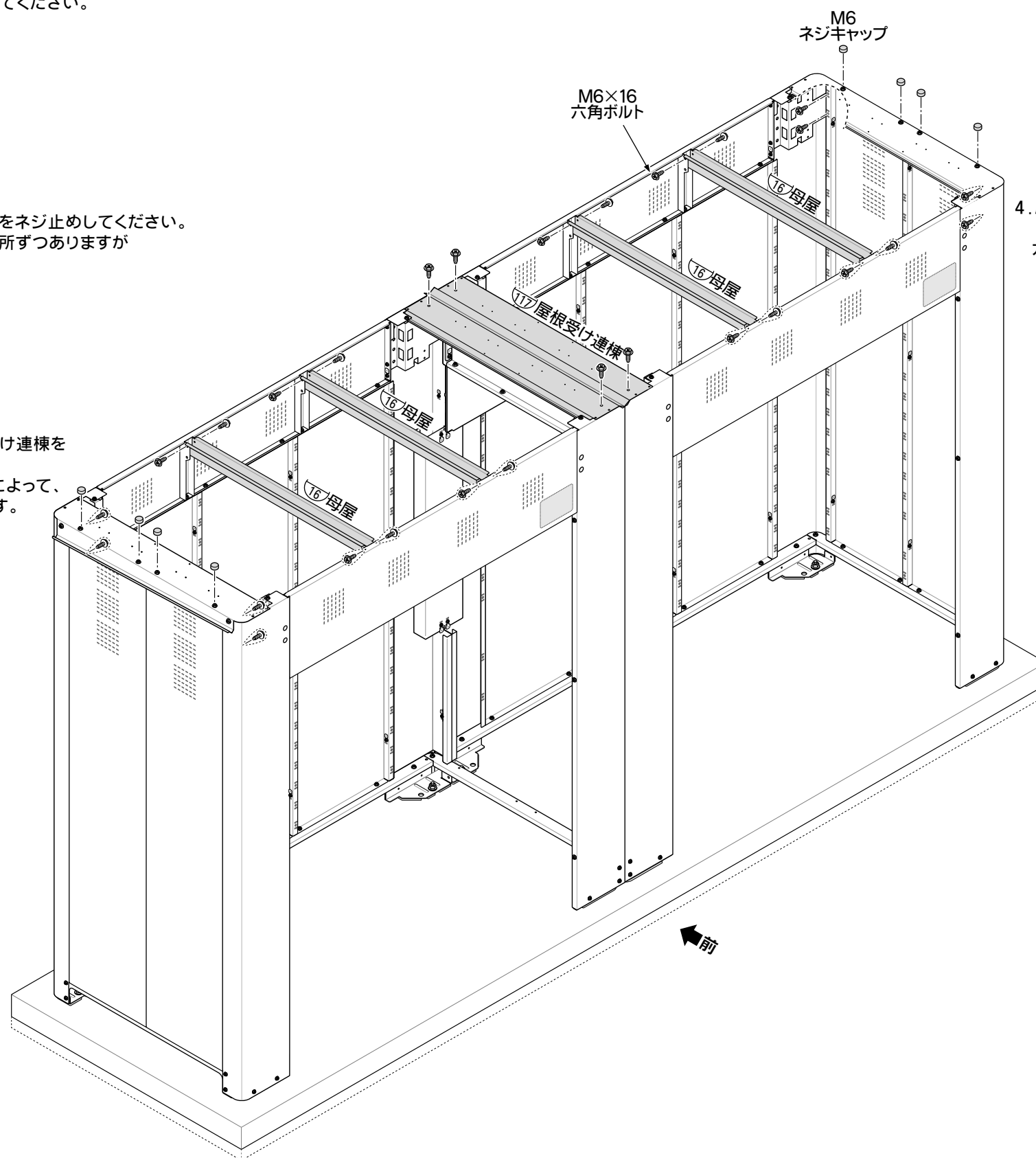
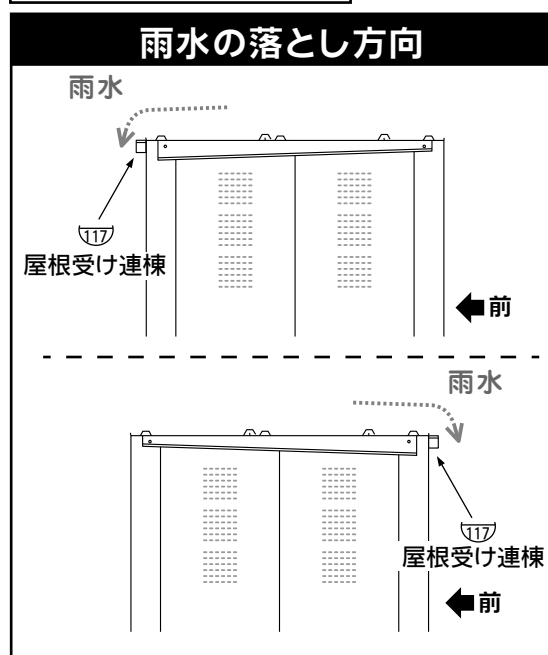
1. 柱上部の上補強材をネジ止めしてください。



2. 前上枠と後上枠の金具に、母屋をネジ止めしてください。
(後上枠の金具には穴が上下2ヶ所ずつありますが上の穴のみ使用します。)



3. 柱前連棟と柱後連棟に、屋根受け連棟をネジ止めしてください。
この時、前後を入れ替えることによって、雨水を落とす方向を変えられます。



使用部品

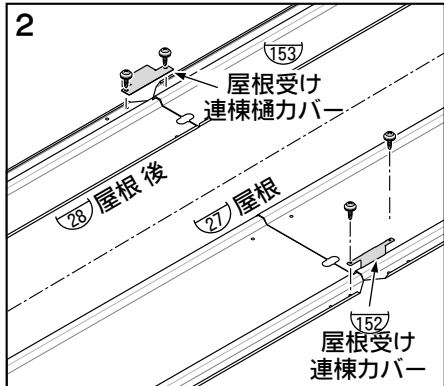
16 母屋	
4010・4206	4
5010	6
17 屋根受け連棟	1
M6×16 六角ボルト	
4010・4206	28
5010	36
M6ネジキャップ	
4010・5010	8
4206	4

4. 屋根受け上部のボルトの頭を、M6ネジキャップでカバーしてください。

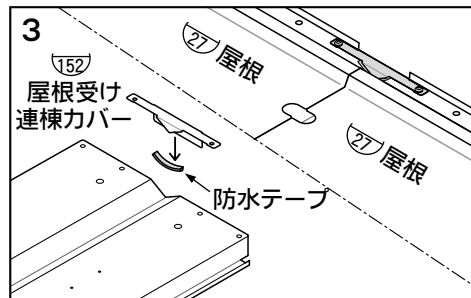
12. 屋根の組立

1.まず、(28)屋根後を最後部に取り付け、端を重ねながら(27)屋根をシール付PANテクスネジで取り付けてください。

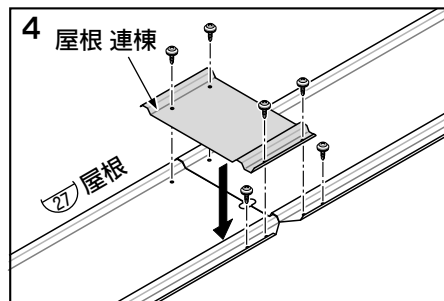
※シール付PANテクスネジで取り付ける位置には、必ず下穴があけてあります。穴位置がずれないようにご注意ください。



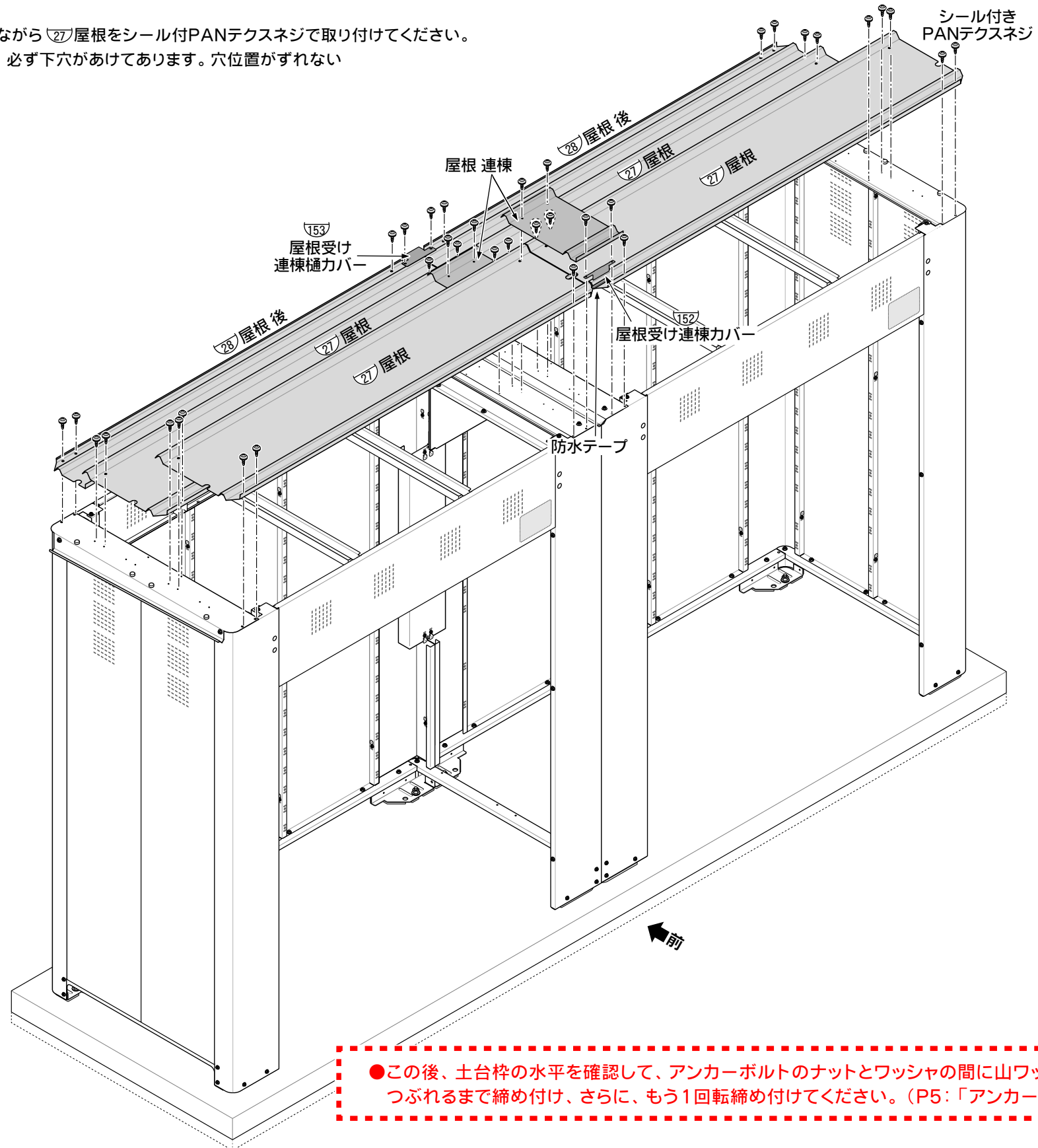
2. 屋根受け連棟力バーと
屋根受け連棟樋力バーは
屋根の上に設置してください。
(屋根の下に設置してしまうと雨漏りの
原因となります。)



3. 屋根受け連棟力バーに防水テープを貼ってから、屋根にネジ止めしてください。

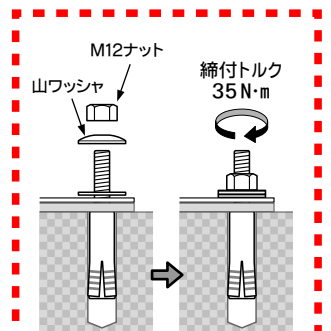


4. 屋根を乗せた後に屋根 連棟を乗せてください。

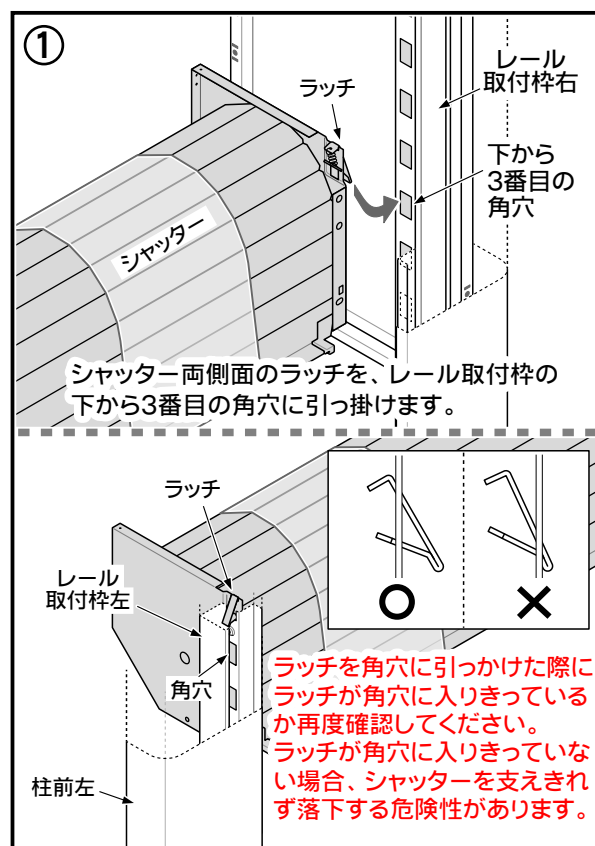


使用部品

②7	屋根		
4010・5010		4	
②7	屋根		
4206		2	
②8	屋根 後		
4010・5010		2	
②8	屋根 後		
4206		2	
①52	屋根受け連棟力バー	1	
①53	屋根受け連棟樋力バー	1	
屋根 連棟			
4206		1	
4010・5010		2	
防水テープ ————— 1			
シール付きPANテクスネジ			
4206		24	
4010・5010		36	

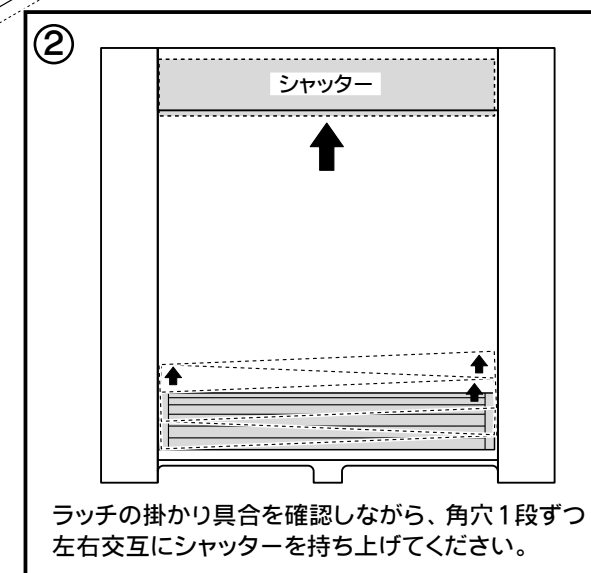
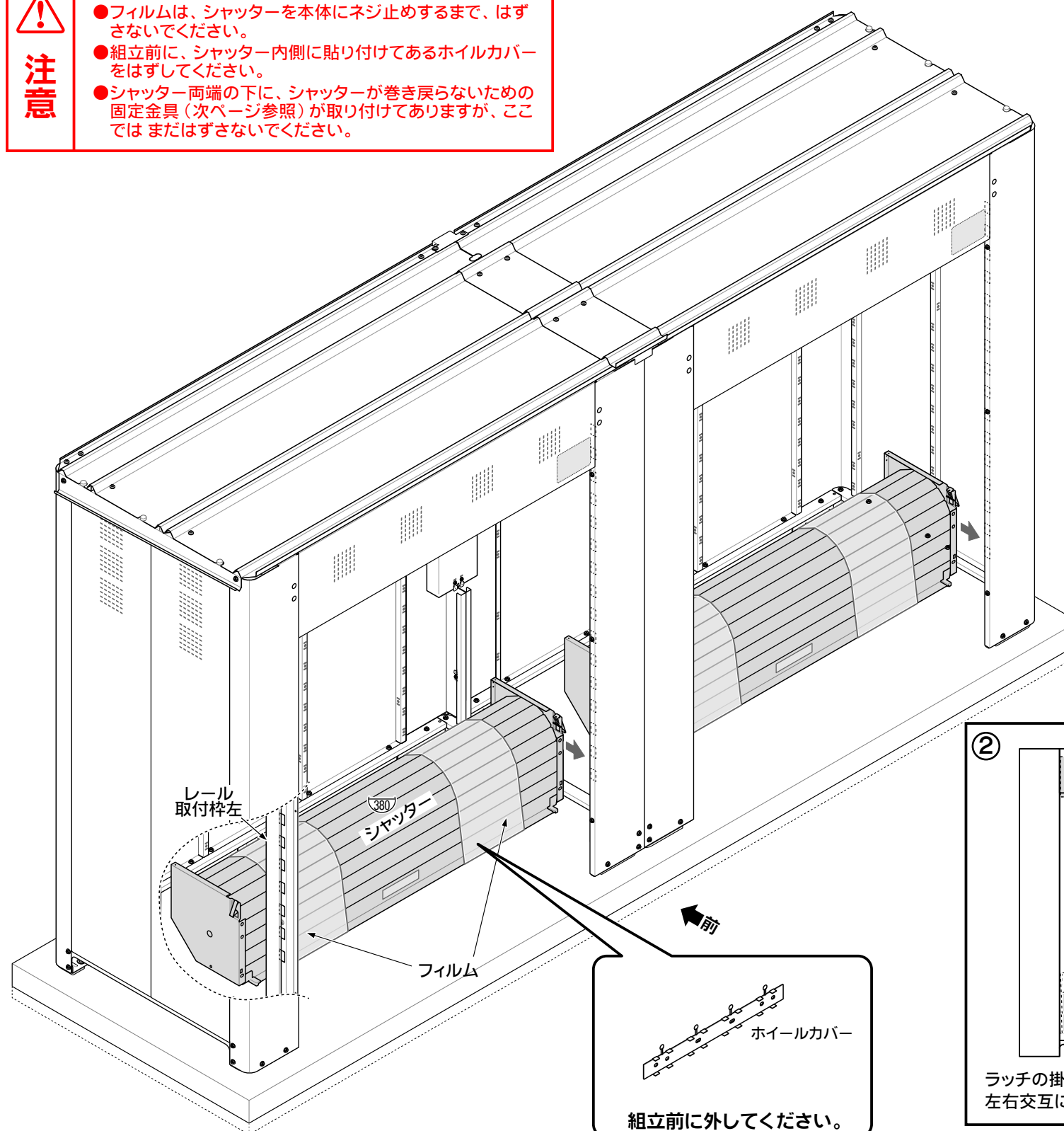


●この後、土台枠の水平を確認して、アンカーボルトのナットとワッシャの間に山ワッシャを入れ、山ワッシャがつぶれるまで締め付け、さらに、もう1回転締め付けてください。(P5:「アンカー施工の要領」参照)



注意

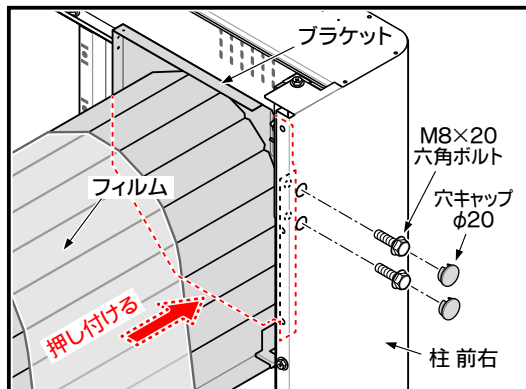
- この作業は、必ず2人以上で行ってください。
- フィルムは、シャッターを本体にネジ止めするまで、はずさないでください。
- 組立前に、シャッター内側に貼り付けてあるホイルカバーをはずしてください。
- シャッター両端の下に、シャッターが巻き戻らないための固定金具（次ページ参照）が取り付けられていますが、ここではまだはずさないでください。



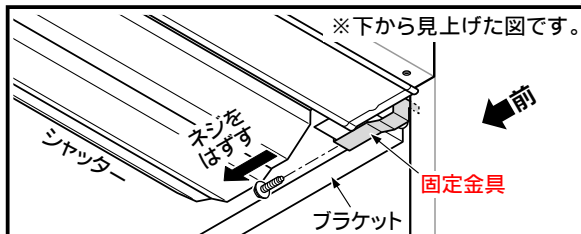
14. シャッターの固定・ガイドレールの取付

使用部品

356 ガイドレール	4
M8×20六角ボルト	8
穴キャップφ20	8
M5×20なベネジ	16

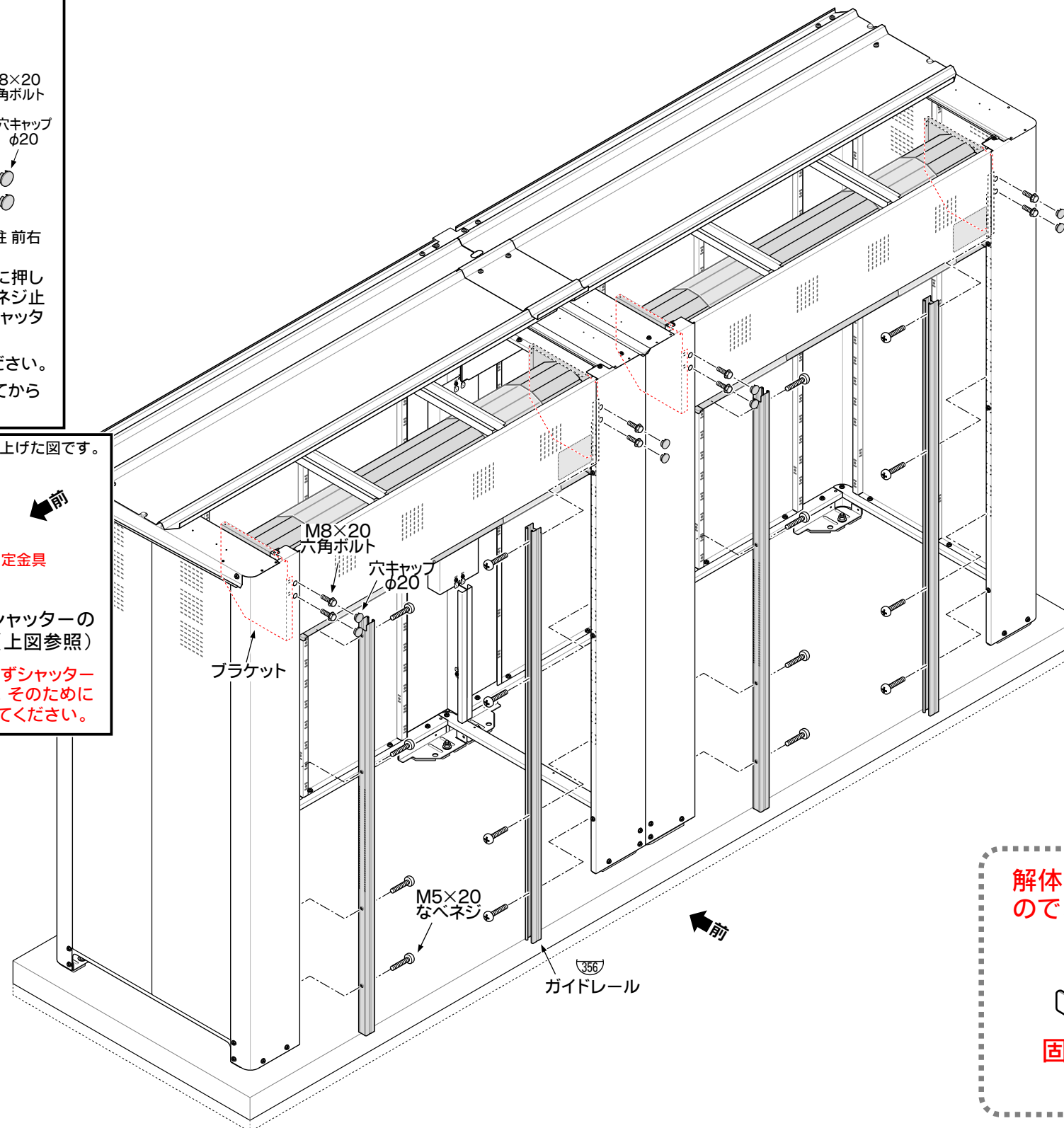


1. ブラケットの下部を、レール取付枠に押し付けながら、M8×20六角ボルトでネジ止めしてください。すき間があると、シャッターを正常に開閉できません。
2. 穴キャップφ20で、穴をふさいでください。
3. シャッターが固定できたのを確認してからフィルムをはずしてください。

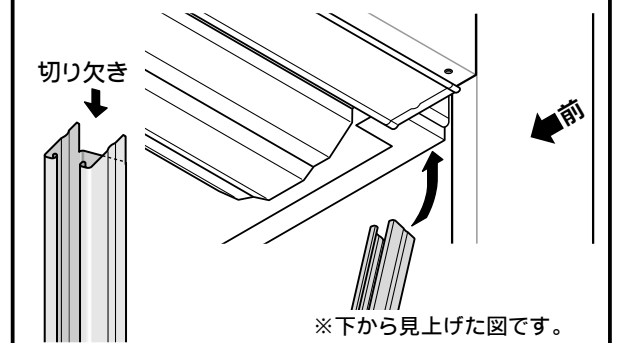


ガイドレールを取り付ける前に、シャッターの**固定金具**を取り除いてください。(上図参照)

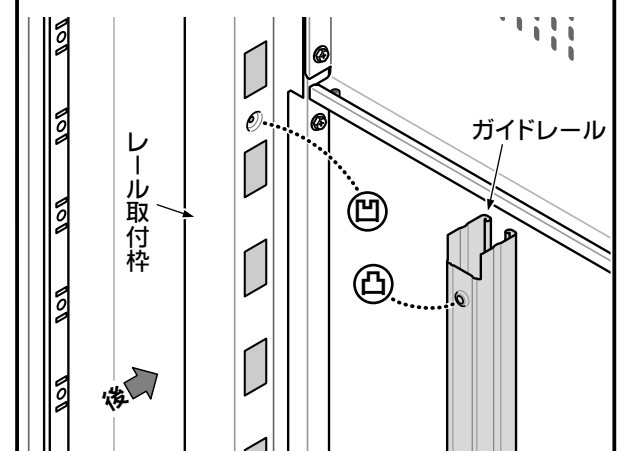
注 保管庫を解体・移設する時は、必ずシャッターを固定金具で固定してください。そのために固定金具を保管するよう心がけてください。



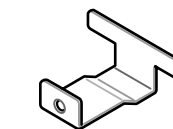
4. ガイドレールは、切り欠きがある方が上になります。上をシャッターに差し込み、



5. レール取付枠の穴と凹凸を合わせて、M5×20なベネジでネジ止めしてください。



解体・移設時に必要になりますので、保管してください。



固定金具
4個

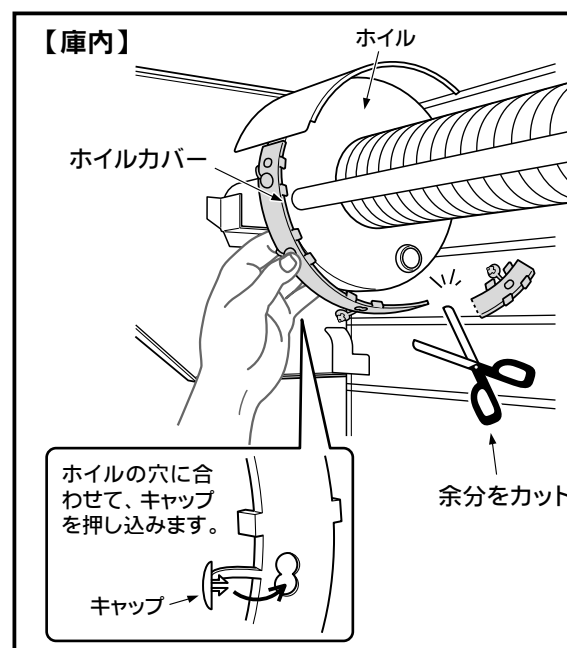


**M6×20
六角ボルト**
4個

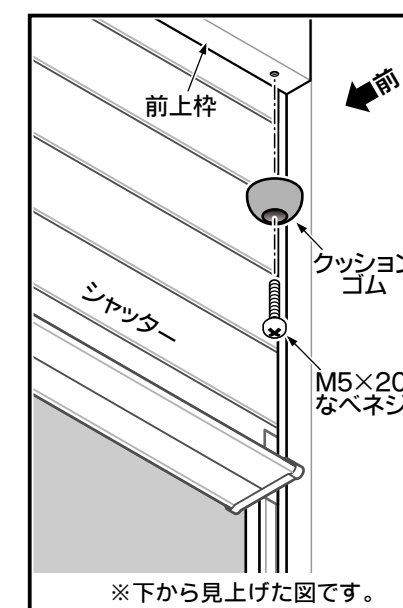
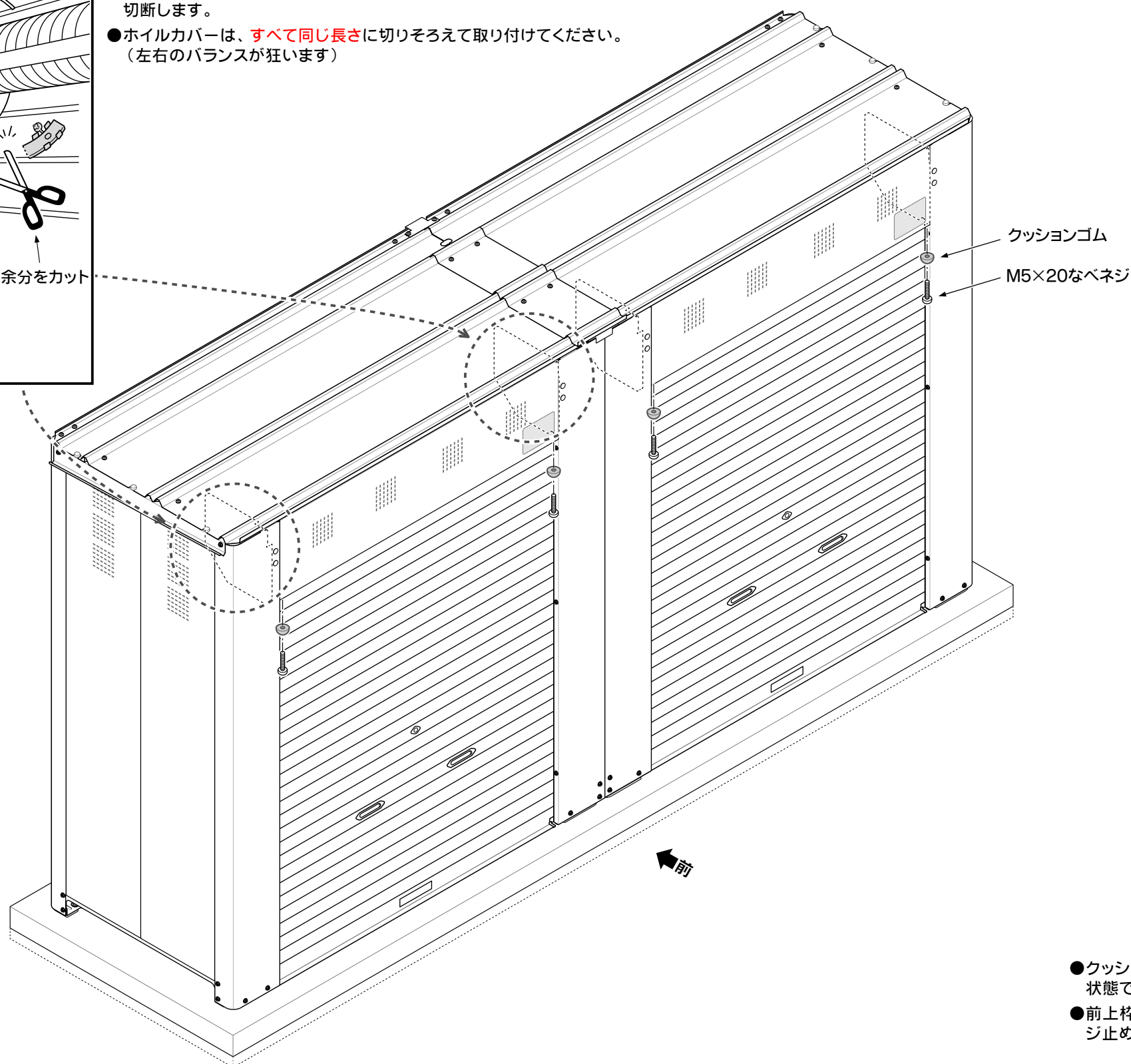
15. ホイルカバー・クッションゴムの取付

使用部品

ホイルカバー	4
クッションゴム	4
M5×20なベネジ	4

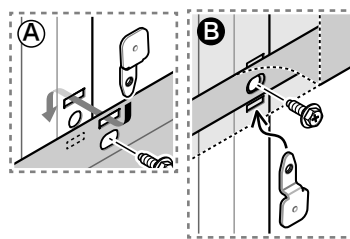


- ホイルカバーは、シャッターを一番下までおろした状態で取り付けます。
- ホイルとシャッターパネルのすき間が少なく、取り付けできない部分は切断します。
- ホイルカバーは、**すべて同じ長さ**に切りそろえて取り付けてください。
(左右のバランスが狂います)



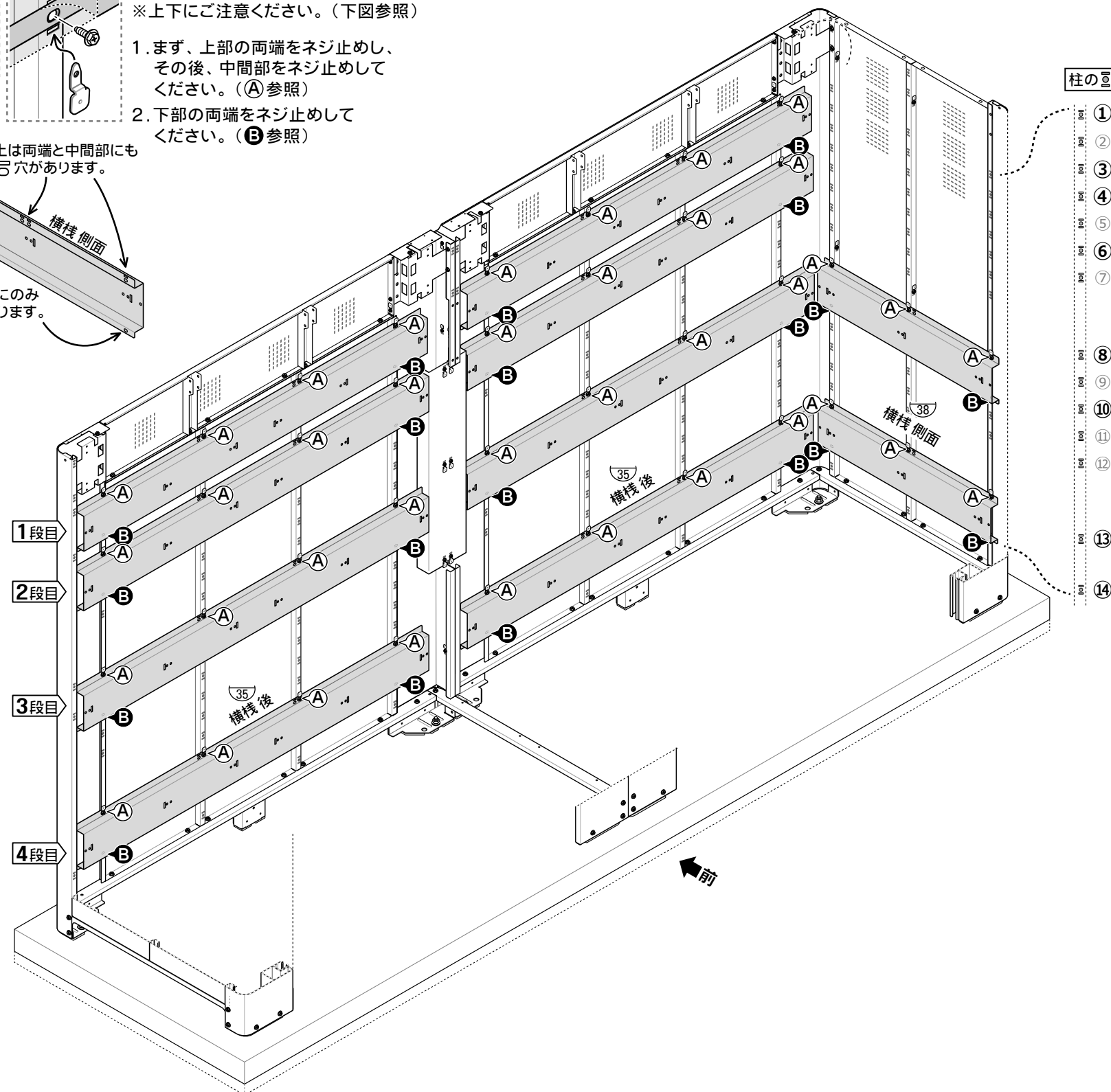
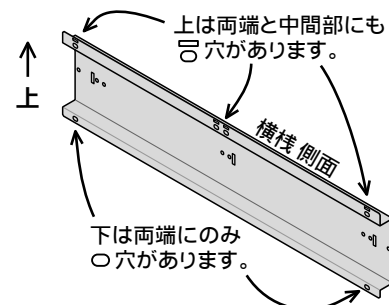
- クッションゴムは、シャッターを引きおろした状態で取り付けてください。
- 前上枠の両端下側に、M5×20なベネジでネジ止めします。(左右2ヶ所)

16. 横棧の組立 (GB-4010/5010)



●両側面と背面に、横棧を取り付けてください。
※上下にご注意ください。(下図参照)

1. まず、上部の両端をネジ止めし、その後、中間部をネジ止めしてください。(A参照)
2. 下部の両端をネジ止めしてください。(B参照)



柱の窓穴

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩
- ⑪
- ⑫
- ⑬
- ⑭

●横棧は、柱の窓穴に高さを合わせて取り付けます。

【横棧の取付位置】

- 1段目 … ①と③
2段目 … ④と⑥
3段目 … ⑧と⑩
4段目 … ⑬と⑭

使用部品

35 横棧 後	8
38 横棧 側面	4
鎖止め金具	
4010	24
5010	32

ネジ板

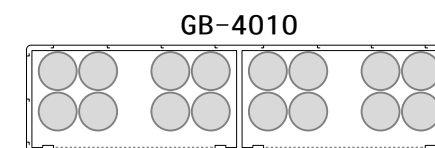
4010	68
5010	76

M6×16 六角ボルト

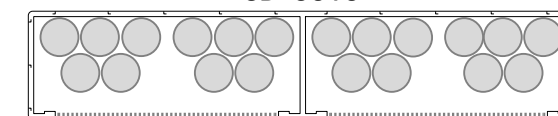
4010	116
5010	140

LPガス容器 配置例

● : 50kg 容器



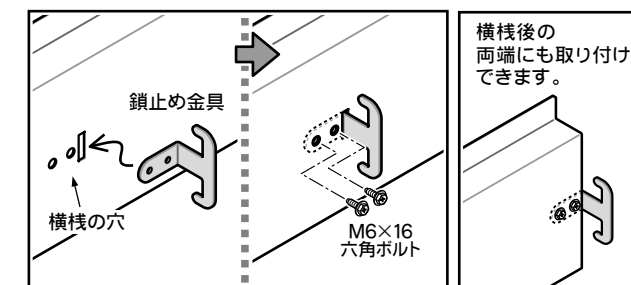
GB-5010



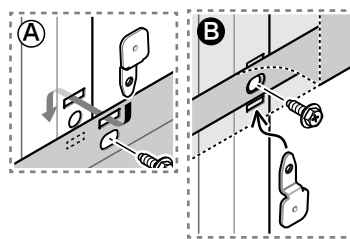
【鎖止め金具の取付】

●鎖止め金具は、下2段の横棧に取り付けます。
位置は、上の容器配置例をご参考に、
収納本数に応じてお決めください。

※容器の転倒によるガス漏れ事故防止のため、
必ずチェーン(市販品)を取り付けてください。

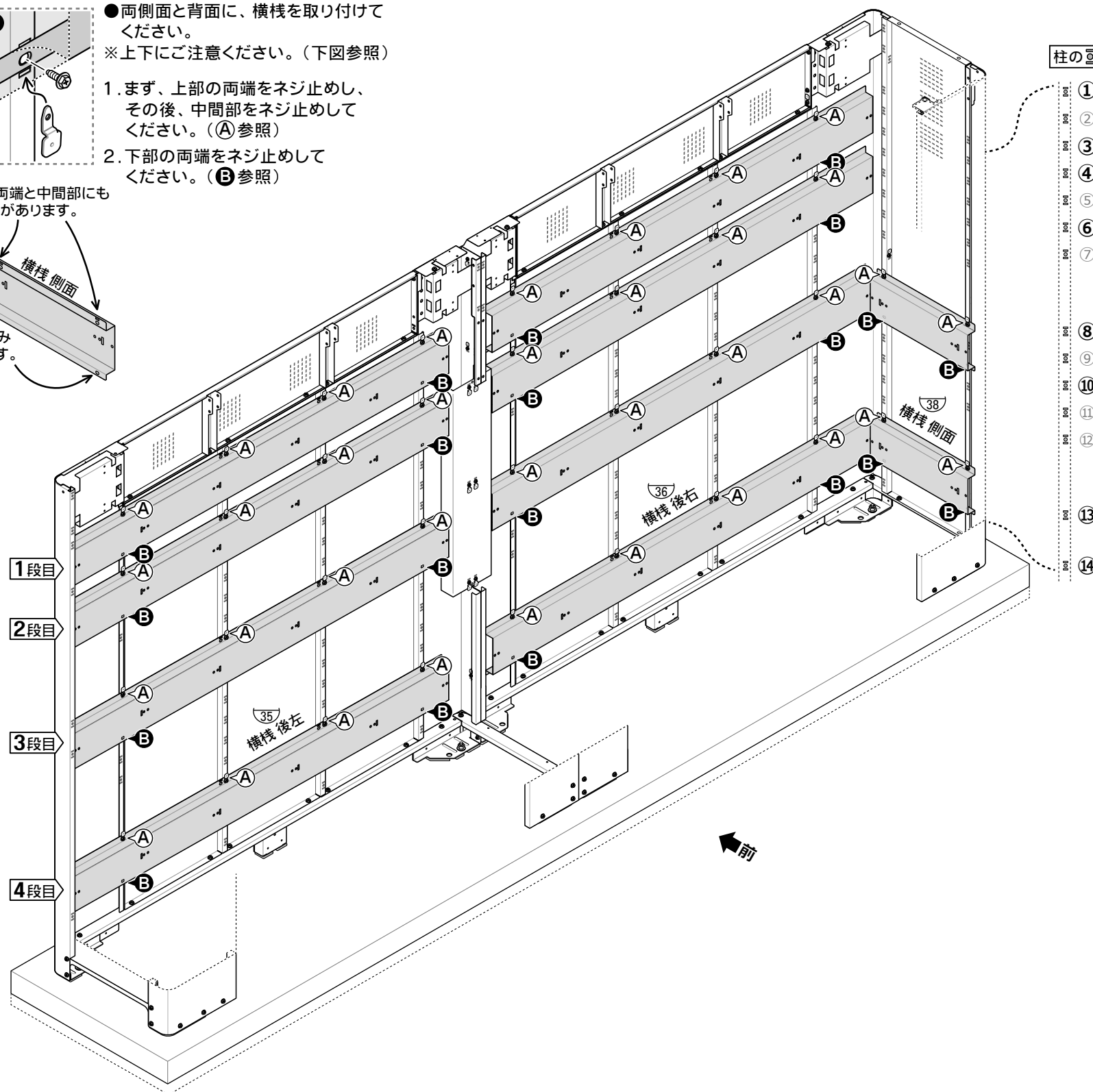
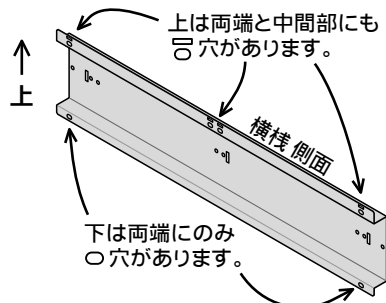


17. 横棧の組立 (GB-4206)



●両側面と背面に、横棧を取り付けてください。
※上下にご注意ください。(下図参照)

1. まず、上部の両端をネジ止めし、その後、中間部をネジ止めしてください。(A参照)
2. 下部の両端をネジ止めしてください。(B参照)



柱の☒穴

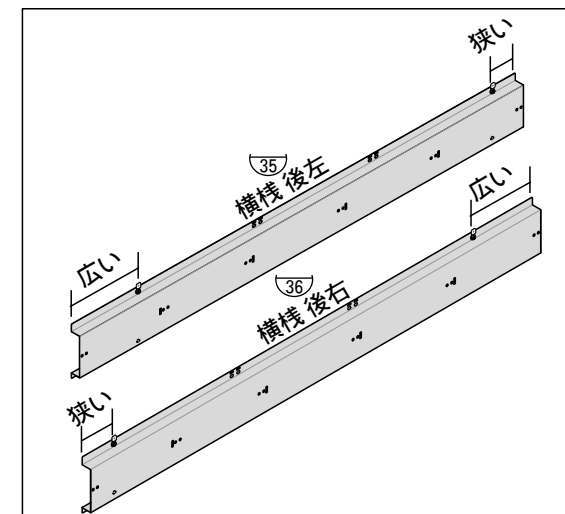
●横棧は、柱の☒穴に高さを合わせて取り付けます。

【横棧の取付位置】

- 1 段目 … ① と ③
2 段目 … ④ と ⑥
3 段目 … ⑧ と ⑩
4 段目 … ⑬ と ⑭

使用部品

③⑤ 横棧 後左	4
③⑥ 横棧 後右	4
③⑧ 横棧 側面	4
鎖止め金具	24
ネジ板	64
M6×16 六角ボルト	112

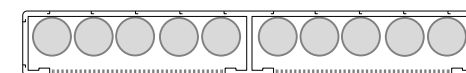


横棧後は左右で穴位置の広さが違います。設置の際は左右を間違えないように注意してください。

LPガス容器 配置例

● : 50kg 容器

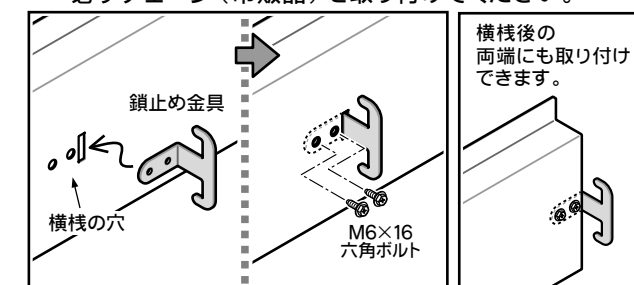
GB-4206



【鎖止め金具の取付】

●鎖止め金具は、下2段の横棧に取り付けます。
位置は、上の容器配置例をご参考に、
収納本数に応じてお決めください。

※容器の転倒によるガス漏れ事故防止のため、
必ずチェーン(市販品)を取り付けてください。



横棧後の
両端にも取り付け
できます。

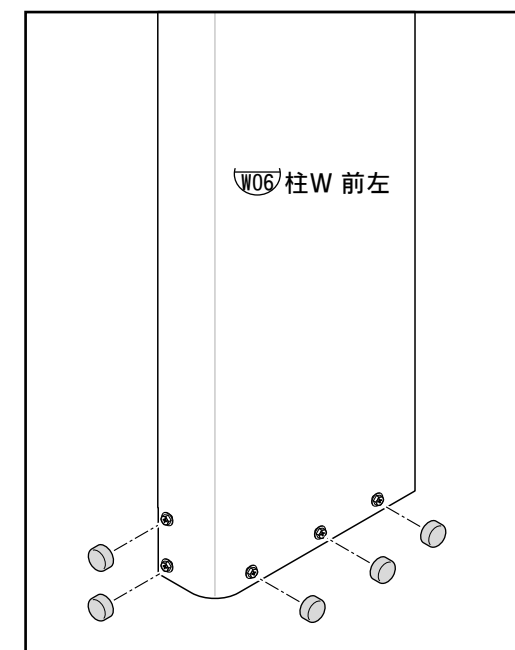
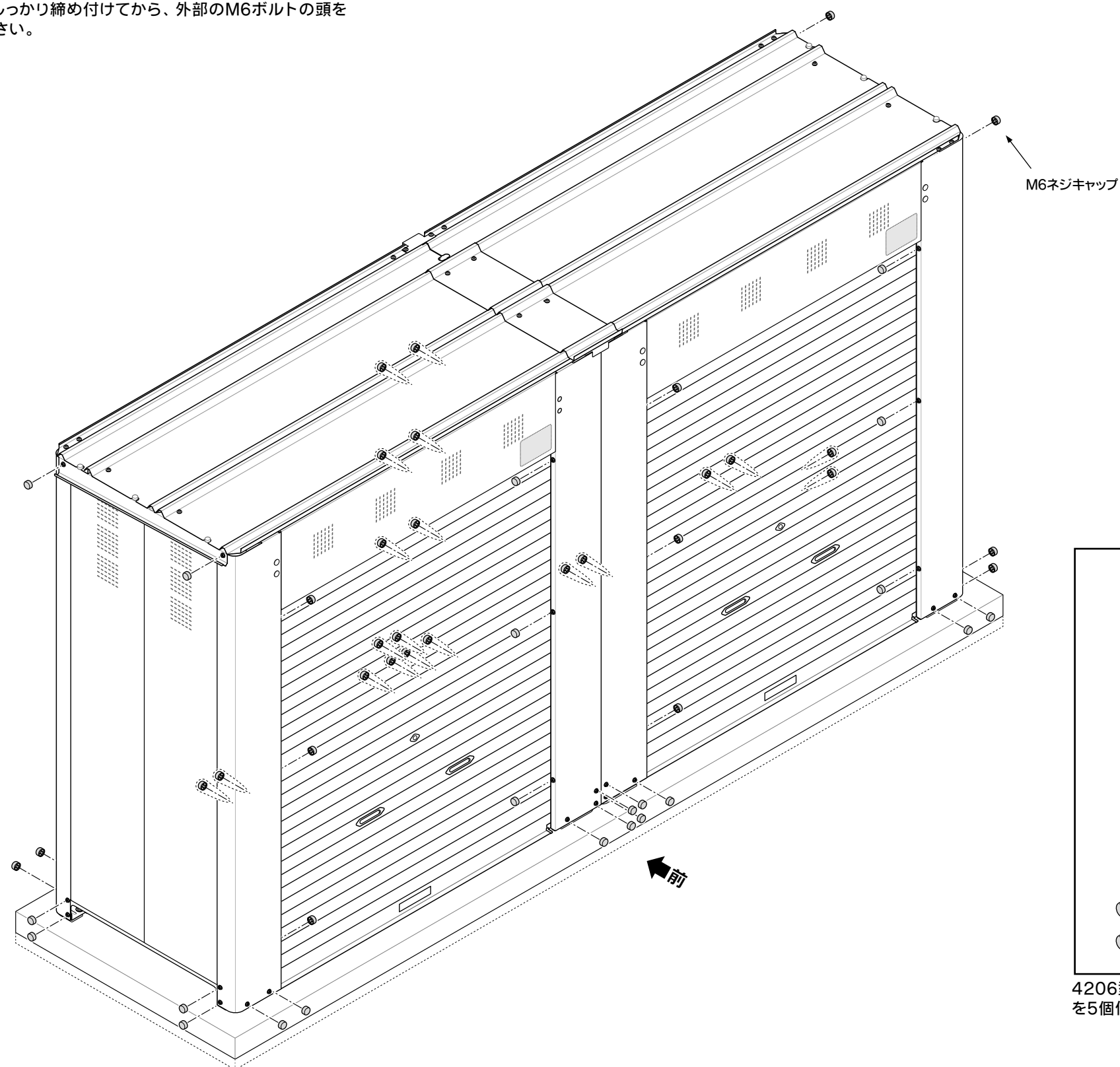
18. ネジキャップの取付

- 最後に、すべてのネジをもう一度しっかり締め付けてから、外部のM6ボルトの頭をM6ネジキャップでカバーしてください。

使用部品

M6ネジキャップ

4010・5010	54
4206	58



4206型の柱をカバーする際はM6ネジキャップを5個使います。

- 以上で組立は完了です。

ここは気をつけて！

- カギをつけたままシャッターを巻き上げると、カギを巻き込む恐れがありますので、シャッターの巻き上げは、必ずカギをはずしてから行ってください。
- シャッターのカギは1ヶ所につき2本ありますが、本鍵と合鍵に分けて、紛失しないように保管してください。
(カギをかけたまま、なくされるお客さまが多くおられます。)
もし、2本の内1本をなくされた場合は、お早めに購入された販売店までお問い合わせください。(合鍵を作製するには、カギに刻印してある番号「B-8000」が必要です。なお、カギは有償です。)

「タクボ LPガス容器保管庫」保証書

このたびはタクボ製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記期間中、正常なご使用状態において故障が発生した場合は本書記載内容に基づき無料修理をさせていただくことをお約束するものです。修理は本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。

保証期間	お買上げ日から2年間
製品名	タクボ LPガス容器保管庫
お買上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 〒 お名前 電話番号 () -

上記の表にご記入の上、本書を紛失されないよう大切に保管してください。

保証内容

1. 正常な設置（組立）かつ正常な使用状態において、製造上の責任による使用上支障をきたす欠陥があった場合、保証期間中（お買い上げ日より2年間）無償修理致します。
2. 保証期間中でも、下記の修理は、有料となります。
 - ①組立説明書などに基づかない施工（転倒予防措置の不備など）や専門業者以外による修理や改造、移動などに起因して発生した不具合や事故
 - ②屋上等、風が強く当たる場所に設置したことにより発生した損傷や事故
 - ③強度基準を超えた条件下でのご使用による不具合や事故
 - ④塗装の色あせ等の経年変化または接触可動部など使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の現象
 - ⑤海岸付近や温泉地等腐食性の強い設置環境やガス給湯器などの排気ガスに起因する損傷
 - ⑥使用上の誤りや取扱説明書等による適切な維持管理を行なわなかったことに起因する不具合
 - ⑦建築躯体等の変形などによる外的要因や軟弱地盤等に起因する不具合や損傷
 - ⑧ねずみ・昆虫等の動物の行為に起因する不具合や損傷
 - ⑨火災・地震・噴火・洪水・津波・台風等の天変地異や暴動等の破壊行為により発生した不具合や損傷
 - ⑩本書の提示がない場合
3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
※この保証書は、本書の提示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

タクボ製品についてのお問い合わせ

一貫して生産されるタクボ製品は、品質管理には細心の注意を払っています。万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせがございましたら、下記の弊社営業所（AM9:00～PM5:00）まで、お気軽にご連絡ください。

西条事務所/工場 〒799-1392	愛媛県西条市北条962-7	0898(65)5000(代)	大阪営業所 〒561-0891	大阪府豊中市走井3丁目1-2	06(6844)3300(代)
仙台営業所 〒983-0035	宮城県仙台市宮城野区日の出町3丁目8-12	022(783)3360(代)	広島営業所 〒731-0231	広島市安佐北区亀山4-11-54	082(814)6690(代)
東京営業所 〒132-0001	東京都江戸川区新堀1丁目6-5	03(3698)2205(代)	高松営業所 〒761-8075	香川県高松市多肥下町1529-8	087(865)1349(代)
埼玉営業所 〒362-0066	埼玉県上尾市大字領家91-1	048(783)0771(代)	松山営業所 〒790-0062	愛媛県松山市南江戸2丁目4-10	089(922)4300(代)
横浜営業所 〒226-0028	横浜市緑区いぶき野31-14	045(984)1891(代)	福岡営業所 〒812-0888	福岡市博多区板付7丁目11-15	092(591)5524(代)
名古屋営業所 〒485-0081	愛知県小牧市横内字下割子287-21	0568(74)5506(代)			

(<https://www.e-ty.co.jp>)

TAKUBO 株式会社 田窪工業所

[2023.12]